

PRIMERGY BX400 S1 シャーシ ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY BX400 S1 / BX920 S2 / BX922 S2 / BX924 S2 / BX920 S3 / BX924 S3 / BX924 S4 / BX920 S4 / BX2560 M1 / BX2580 M1 / BX2560 M2 / BX2580 M2 に関する留意事項です。

本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

留意・注意事項一覧

留意・注意事項一覧	1
MMB FW 6.88 版で追加の項目	4
1. クライアント認証について	4
MMB FW 6.86 版で追加の項目	4
MMB FW 6.84 版で追加の項目	5
1. SSL v2/v3 について	5
2. マネジメントブレード ファームウェアのローカルファイルアップデートについて	5
3. マネジメントブレード Web ユーザーインターフェースの表示について	6
MMB FW 6.73 版で追加の項目	6
1. 電源ユニットの冗長構成について	6
MMB FW 6.62 版で追加の項目	7
1. マネジメントブレード 未サポート機能について	7
2. 電源管理メニューの変更について	7
3. すべてのサーバブレードが 30 分以上オンの場合にシステムユニットの電源切断設定について	7
4. 2 つのサーバブレードの電源投入/切断の遅延設定について	7
5. BX920 S4、BX924 S4、BX2560 M1、BX2580 M1 の [起動方法の設定] について	7
6. BX920 S3/BX924 S3/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 の消費電力制御設定について	8
7. BX920 S3/BX924 S3/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 の電力制御オプション設定について	9
MMB FW 6.56S 版で追加の項目	10
1. コンバードスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]、コンバードファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) 搭載時の注意事項	10
2. コンバードファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) の品名が正しく表示されない	10
MMB FW 6.56 版で追加の項目	11
1. 適応型電力制限の使用時の注意について	11
2. マネジメントブレードファームウェア Ver.6.56 以降へのアップデート時の注意	11
MMB FW 6.42 版で追加の項目	12
1. コンバードスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730] で AuDi-MIP 機能が使用できない	12
2. コンバードスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730] の情報が正しく表示されない	12
3. コンバードスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730] の IP 表示の更新ができない	13
MMB FW 6.33 版で追加の項目	13
1. マネジメントブレードファームウェア Ver.6.33 以降へのアップデート時の注意	13
2. ハードウェア不適合が発生する	14
3. Internet Explorer 9 使用時のマネジメントブレード設定バックアップの注意について	14
MMB FW 6.22 版で追加の項目	15
1. iRMC LAN ポート (LAN セレクタ) の設定時の注意について	15
2. マネジメントブレードの VLAN IP アドレス設定について	15
3. マネジメントブレード電源投入/切断順序 (Sequence Power-On/Off Time) 機能について	15

MMB FW 6.13 版で追加の項目	15
1. ファイバーチャネルスイッチブレード管理ポートの DHCP 設定が初期化されない	15
MMB FW 全版数 共通項目	16
1. USB/DVD が割り当てられたサーバブレードの確認方法	16
SVIM V11.14.11 版で追加の項目	16
1. Easy Installation(簡易インストール)機能について	16
修正・対応済項目	18
MMB FW XXX 版で追加の項目	18
1. 【対応済み】BX2560 M1 の搭載について	18
MMB FW 6.91 版で修正済みの項目	18
1. 【修正済み】コネクションブレードの状態表示について	18
MMB FW 6.88 版で修正済みの項目	18
1. 【修正済み】クライアント認証について	18
2. 【修正済み】IP フィルタリングについて	18
MMB FW 6.84 版で修正済みの項目	19
1. 【修正済み】コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) で AuDi-MIP 機能が使用できない	19
2. 【修正済み】Internet Explorer 10 使用時の注意について	19
MMB FW 6.73 版で修正済みの項目	20
1. 【修正済み】[強制電源切断機能を有効にする]設定について	20
2. 【修正済み】スイッチブレード (10Gbps 18/8)、コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2)の [管理 ポートの設定] について	20
3. 【修正済み】コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) の IPv6 アドレス情報が正しく表示されない	21
4. 【修正済み】コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード(10Gbps 18/8+2)搭載時の注意事項	22
5. 【修正済み】マネジメントブレードバックアップ設定の注意について	22
6. 【修正済み】iRMC の VLAN 設定について	22
MMB FW 6.62 版で修正済みの項目	23
1. 【修正済み】グローバルディレクトリサービスの設定が反映されない	23
2. 【修正済み】シャシのスケジュール運転の設定時のエラー画面表示について	23
3. 【修正済み】サーバブレードのファームウェアアップデート後にエラーログが記録される	24
4. 【修正済み】サーバブレードの強制電源切断機能について	24
5. 【修正済み】LCD パネルに表示されるヘルプ内容が正しくない	24
6. 【修正済み】コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]のコネクションブレード名の注意について	25
7. 【修正済み】マネジメントブレードの AuDi-MIP で、VLAN の IP アドレスが割り振られない	25
MMB FW 6.56 版で修正済みの項目	26
1. 【修正済み】電源のダイナミックモード設定について	26
2. 【修正済み】SAS スwitchブレード (6Gbps 18/6) の IP アドレス設定について	26
3. 【修正済み】コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]の LCD パネル表示について	26
4. 【修正済み】LAN パススルーブレード (10Gbps 18/18) を CB スロット 2 に搭載する場合の注意	27
5. 【修正済み】スイッチブレード(10Gbps 18/8)の IPv6 アドレスが表示されない	28
6. 【修正済み】FC スwitchブレードの情報が正しく表示されない	28
7. 【修正済み】Infiniband スwitchブレードの IP アドレスが正しく表示されない	29
8. 【修正済み】Infiniband スwitchブレードのアカウント設定について	30
9. 【修正済み】サーバブレードのスケジュール運転に電源投入時刻 00:00 が設定される	30
10. 【修正済み】iRMC LAN ポート(LAN セクタ)を管理 LAN に設定できない	31
11. 【修正済み】LCD パネルの注意について	31
12. 【修正済み】AuDi-MIP 機能使用時の注意について	32

MMB FW 6.41 版で修正済みの項目	32
1. 【修正済み】BX920 S3、BX924 S3 が搭載されている場合、Ekey エラーが記録される	32
2. 【修正済み】Internet Explorer 9 使用時の注意について	33
3. 【修正済み】サーバブレードのメザニンカード 2 の E-keying 情報が正しく表示されない	33
4. 【修正済み】システムの[設置場所]および[連絡先]について	34
MMB FW 6.33 版で修正済みの項目	34
1. 【修正済み】BX900 S1 シャーシに BX400 S1 用ファームウェアが書き込まれているマネジメントブレードの搭載について	34
2. 【修正済み】マネジメントブレード 未サポート機能について	35
3. 【修正済み】IP フィルタリングについて	35
4. 【修正済み】消費電力モードの初期設定について	36
5. 【修正済み】マネジメントブレードの IPv6 設定について	36
6. 【修正済み】IPv6 環境下で、サーバブレードの iRMC のリモート管理/ビデオリダイレクションに接続できない	36
7. 【修正済み】サーバブレードのスケジュール運転の設定について	36
MMB FW 6.22 版で修正済みの項目	37
1. 【修正済み】ストレージブレードが搭載されている場合、Ekey エラーが記録される	37
2. 【修正済み】NTP サーバの IP アドレス設定について	37
3. 【修正済み】マネジメントブレード設定の退避復元について	37
4. 【修正済み】マネジメントブレード CSS ランプおよび保守ランプの誤点灯について	37
5. 【修正済み】サーバブレードの消費電力モードが変更できない	38
6. 【修正済み】Web ブラウザが Firefox の場合、マネジメントブレードの設定バックアップ/復元ができない	38
7. 【修正済み】サーバブレードのブートウォッチドッグリトライカウンターに[0]が設定できない	38
MMB FW 6.13 版で修正済みの項目	38
1. 【修正済み】マネジメントブレードのシステムイベントログに E-Keying エラーメッセージが記録される	38
2. 【修正済み】マネジメントブレードのモード切り替え (Change Role) 後、ログインに時間がかかる	39
3. 【修正済み】BIOS 設定の復元について	39
4. 【修正済み】LCD パネルの表示について	39
5. 【修正済み】電源ユニットのファンエラーの誤表示について	39
6. 【修正済み】証明書のアップロードについて	39
7. 【修正済み】iRMC の設定情報の表示について	40
8. 【修正済み】ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 IP アドレスの設定について	40
9. 【修正済み】ファンモジュールの電源ランプについて	41
10. 【修正済み】電源ユニットのダイナミックモード設定について	41
11. 【修正済み】iRMC 設定情報の復元について	41
iRMC FW で修正済みの項目	42
1. 【修正済み】電源ユニットの活性交換・活性増設時の注意事項について [BX920 S4/BX924 S4 搭載時]	42
2. 【修正済み】電源ユニットの活性交換・活性増設時の注意事項について [BX920 S3/BX924 S3 搭載時]	42
3. 【修正済み】BX924 S4 搭載時の[システム消費電力モード]設定について	43
4. 【修正済み】BX924 S4 搭載時の[入力電力制限]について	43
5. 【修正済み】サーバブレードのメモリ情報が正しく表示されない	43
6. 【修正済み】マネジメントブレード再起動時に稀にサーバブレードがシャットダウンする	43
7. 【修正済み】サーバブレードのアセットタグについて	44
8. 【修正済み】BX2560 M2/BX2580 M2/BX2560 M1/BX2580 M1/BX920 S4/BX924 S4 の[シャットダウンおよび電源切断・投入]について	44
BIOS で修正済みの項目	46
1. 【修正済み】Easy Installation(簡易インストール)機能を用いた RHEL6.2 のインストールについて	46
2. 【修正済み】LAN 拡張ボード(1Gbps)の情報が正しく表示されない	46
ServerView Agents で修正済みの項目	49
1. 【修正済み】マネジメントブレードのシステムイベントログにサーバブレードのエラーが繰り返し記録される	49

MMB FW 6.88 版で追加の項目

1. クライアント認証について

マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.73 以前をご使用で、かつクライアント認証を有効に設定している場合、マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.88 以降にアップデート後に再度ユーザー証明書のインポートが必要です。

以下の手順でユーザー証明書のインポートを実施してください。

1. マネジメントブレード ファームウェア アップデート前に、マネジメントブレード Web ユーザインターフェースにサインインします。
2. 一時的にクライアント認証(注 1)を無効に設定します。
3. マネジメントブレード ファームウェアをアップデートします。
4. ユーザー証明書(注 2)を生成し、ダウンロードします。
5. ユーザー証明書をインポートします。
6. クライアント認証(注 1)を有効に戻します。

(注 1) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [設定]-[システムユニット]-[ネットワークインタフェース]-[管理 LAN]-[ネットワークの設定]タブ-[Web ベースのアクセス]-[HTTP/HTTPS]ボックス

(注 2) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[証明書の操作]-[ユーザー証明書]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.88 以降

MMB FW 6.86 版で追加の項目

MMB FW 6.86 版で追加された項目は、すべて修正済み項目に移動しました。

MMB FW 6.84 版で追加の項目

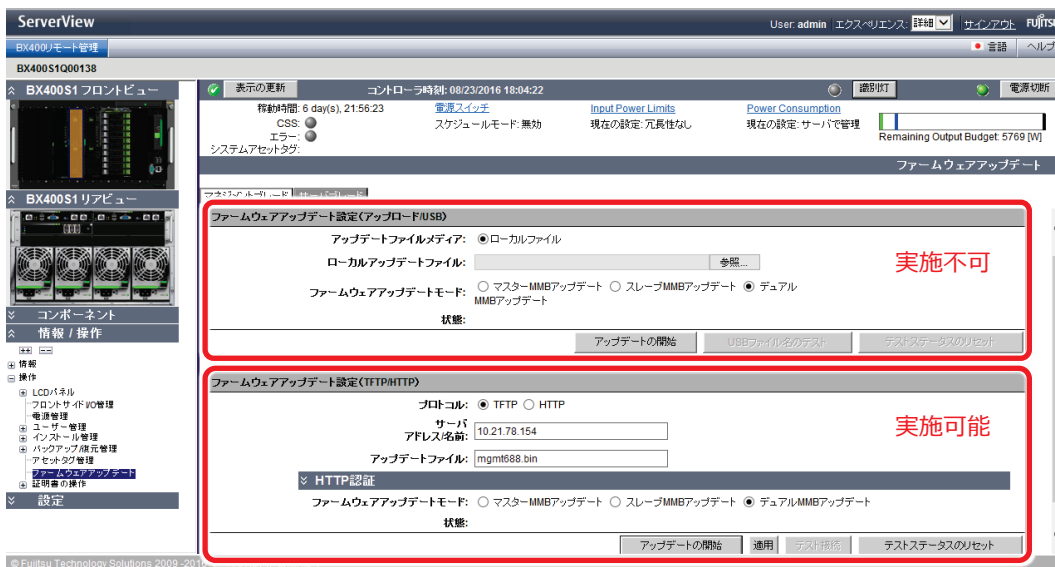
1. SSL v2/v3 について

マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.84 において、暗号通信プロトコル SSL v2 および SSL v3 は使用できません。
マネジメントブレードとセキュアな通信が必要な場合、暗号通信プロトコル TLS 1.0 以上をご使用ください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.84 以降

2. マネジメントブレード ファームウェアのローカルファイルアップデートについて

マネジメントブレードのファームウェアアップデート(注 1)を実施する場合、ローカルファイルを使用したアップデートを行うとアップデートに失敗する場合があります。マネジメントブレード ファームウェアアップデートは TFTP(Trivial File Transfer Protocol)によるアップデートを実施してください。



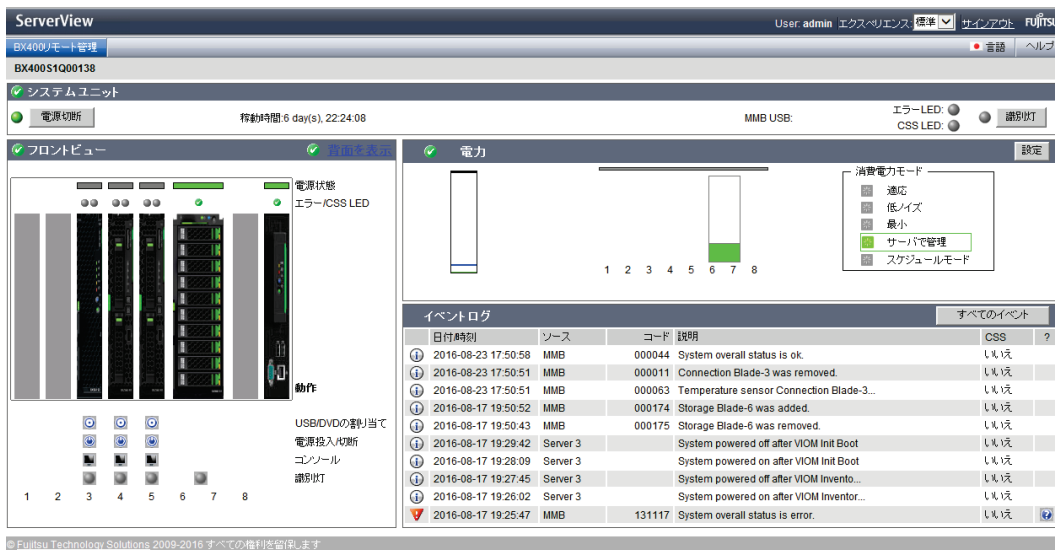
(注 1) iRMC Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[ファームウェアアップデート]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.84 以降

3. マネジメントブレード Web ユーザインターフェースの表示について

Internet Explorer 11 を使用し、マネジメントブレード Web ユーザインターフェースにサインインした際、ダッシュボードサイト(エクスペリエンス: 標準)が枠表示のみで正しく表示されない場合があります。

以下は正常時の表示例



以下の手順により、互換表示設定することで正しく表示されます。

1. Internet Explorer の[ツール]メニューで[互換表示設定]を選択します。
2. 「追加する Web サイト」にマネジメントブレード 管理 LAN の IP アドレスを入力し、[追加]ボタンをクリックします。
3. [閉じる]ボタンをクリックします。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.84 以降

MMB FW 6.73 版で追加の項目

1. 電源ユニットの冗長構成について

マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.63 以前において、[電源ユニットの冗長構成](注 1)を初期設定(冗長性なし)以外に設定してご使用の場合、ファームウェア Ver.6.73 以降にアップデート後、設定が初期設定に戻ります。ファームウェアアップデート後は、[電源ユニットの冗長構成]を再設定してください。

(注 1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[入力電力制限]-[PSU 制御]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.73 以降

MMB FW 6.62 版で追加の項目

1. マネジメントブレード 未サポート機能について

以下の機能は、Web ユーザインターフェースに表示されますが、使用できません。

- (1) PSU 配線構成 (PSU Cabling Configuration)
[情報/操作]-[電源管理]-[設定]-[PSU 配線構成]は、設定しないでください。
- (2) コネクションブレードのアセットタグ
[コンポーネント]-[コネクションブレード]-[設定]タブに[アセットタグ]メニューが表示されますが、設定できません。
- (3) スイッチブレードの設定情報バックアップ/復元
[コンポーネント]-[コネクションブレード]-[対象のスイッチブレード]-[バックアップ/復元]は使用しないでください。
スイッチブレードのバックアップ/復元については、各スイッチブレードの取扱説明書をご参照ください。
- (4) システムイベントログの解決方法の表示
[情報/操作]-[システムイベントログ]-[イベントログ表示フィルタ]にて、「解決方法の表示」が選択できますが、使用しないでください。

2. 電源管理メニューの変更について

マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.62 より電源管理(注 1)のインターフェースを変更しております。詳細は、Web ユーザインターフェースの[電源管理]ページから[ヘルプ]を参照ください。

マネジメントブレードファームウェア Ver. 6.62 以降のシステム消費電力モード(注 2)の初期設定は [適応] です (マネジメントブレードファームウェア Ver. 6.56/6.56S 以前の初期設定は [なし])。

巻末に付録「BX400 S1 [消費電力モード] 旧/新ファームウェア設定項目対応表」を添付していますので、必要に応じ参照してください。

(注 1) Web ユーザインターフェース[情報/操作]-[操作]-[電源管理]

(注 2) Web ユーザインターフェース[情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[消費電力]-[システム消費電力モード]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 以降

3. すべてのサーバブレードが 30 分以上オンの場合にシステムユニットの電源切断設定について

電力スイッチ設定(注 1)にて、“すべてのサーバブレードが 30 分以上オンの場合にシステムユニットの電源を切断”にチェックを入れると、システム電源のシャットダウン及び電源切断を実行した際に 30 分経過してもサーバブレードのシャットダウンが完了していない場合、強制的に電源切断を実行します。

(注 1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[電源スイッチ]-[電力スイッチ設定]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 以降

4. 2 つのサーバブレードの電源投入/切断の遅延設定について

システムサーバブレードの電源投入/切断順序(注 1)において [2 つのサーバブレードの電源投入/切断の遅延] の設定は、電源投入時のみ有効です。

(注 1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[電源スイッチ]-[システムサーバブレードの電源投入/切断順序]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 以降

5. BX920 S4、BX924 S4、BX2560 M1、BX2580 M1 の [起動方法の設定] について

マネジメントブレードより BX920 S4、BX924 S4、BX2560 M1、BX2580 M1 サーバブレードの起動方法(注 1)は設定できません。起動方法を変更する場合は、サーバブレードの BIOS セットアップユーティリティで行ってください。

(注 1) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[設定] タブの[起動方法の設定]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 以降

6. BX920 S3/BX924 S3/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 の消費電力制御設定について

下記発生条件を満たしたとき、本来動作しない消費電力制御機能が動作する場合があります。

発生条件

- ① BIOS 設定
BX920 S3/BX924 S3(注 1)の場合
[Power Technology]を“Disable”に設定、
または、[Power Technology]を“Custom” かつ [Enhanced SpeedStep]を“Disabled”に設定。
BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2(注 2)の場合
[Enhanced SpeedStep]を“Disabled”に設定。
- ② マネジメントブレード(注 3)の[システム消費電力モード]を“サーバで管理”に設定。
- ③ マネジメントブレード(注 3)の[サーバ制御の消費電力モードテーブル]の[消費電力モード]を“iRMC 制御”に設定。

iRMC 設定(注 4)の[電源制御オプション]-[電力制限オプション]ボックス(赤枠部分)が表示されている場合、消費電力制御機能が動作しています。

ServerView
PRIMERGY BX920 S3 FUJITSU ServerView® iRMC S3 Web Server
ユーザID: admin ログアウト FUJITSU
English Deutsch

CCC (Slot 15) 消費電力制御

電力制御オプション

電力制御: 電力制御. 無効
消費電力監視単位: Watt
消費電力モニタリング有効: ☒
適用

電力制限オプション

電力制限: 155 Watt
電源調整のための警告値: 90 パーセント
電力制御処理までの許容時間: 1 分
電力制限到達時の動作: 継続稼動する
動的な電力制御を有効にする: ☒
適用

① 注: 電力制御を使用するためには、BIOSセットアップにてEnhanced Speed Stepを有効にする必要があります。それでもこのメッセージが表示されている場合、CPUがこの機能をサポートしていないか、あるいはシステムがBIOSのPOST中です。
② 注: 電力制限到達時の動作に電源切断(シャットダウン)を適用する場合、ServerView Agentが動作している必要があります。

(注 1) BIOS セットアップメニュー [Advanced]-[CPU Configuration]-[Power Technology]

(注 2) BIOS セットアップメニュー [Advanced]-[Advanced Processor Options]

(注 3) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[消費電力]タブ

(注 4) iRMC Web ユーザインターフェース [電力制御]-[電力制御オプション]

消費電力制御機能を無効にする場合は、以下の手順で設定してください。

1. サーバブレードの電源を切断します。
2. iRMC Web ユーザインターフェースにログインします。
3. [電力制御]-[電力制御オプション]-[電力制御オプション]ボックスの[電力制御]を“電力制御. 無効”に設定し、[適用]ボタンをクリックします。

電力制御オプション

電力制御: 電力制御. 無効
消費電力監視単位: Watt
消費電力モニタリング有効: ☒
適用

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.62以降
サーバブレード BIOS/iRMC 全版数

7. BX920 S3/BX924 S3/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 の電力制御オプション設定について

下記発生条件を満たしたとき、電力制御オプション設定が意図せず初期設定(電力制御.無効)から変更され、消費電力制御機能が動作する場合があります。

発生条件

- ① BX920 S3/BX924 S3/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 サーバブレードをご購入、または保守交換した場合。
- ② マネジメントブレード(注 1)の[システム消費電力モード]を“サーバで管理”に設定。
- ③ マネジメントブレード(注 1)の[サーバ制御の消費電力モードテーブル]の[消費電力モード]を“iRMC 制御”に設定。

iRMC 設定(注 2)に[電力制限オプション]ボックスが表示されている場合、消費電力制御機能が動作しています。

ServerView ユーザID: SSO User 2 ログアウト FUJITSU

PRIMERGY BX924 S3 FUJITSU ServerView® iRMC S3 Web Server English Deutsch

localhost (Slot 12) 消費電力制御

電力制御オプション

電力制御: 電力制限
消費電力監視単位: Watt
消費電力モニタリング有効: ☒

適用

電力制限オプション

電力制限: 198 Watt
警告しきい値: 90 パーセント
電力制限据置期間: 1 分
電力制限到達時の動作: 継続稼働する
動的な電力制御を有効にする: ☒

適用

注: 電力制御を使用するには、BIOSセットアップにてEnhanced Speed Stepが有効であるか確認してください。
注: 電力制限到達時の動作に電源切断(シャットダウン)を適用する場合、ServerView Agentが動作している必要があります。

(注 1) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[消費電力]タブ

(注 2) iRMC Web ユーザインターフェース [電力制御]-[電力制御オプション]

消費電力制御機能を無効にする場合は、以下の手順で設定してください。

1. iRMC Web ユーザインターフェースにログインします。
2. [電力制御]-[電力制御オプション]-[電力制御オプション]ボックスの[電力制御]がグレーアウトして変更できない場合、サーバブレードの電源を切断します。
3. [電力制御]-[電力制御オプション]-[電力制御オプション]ボックスの[電力制御]を“電力制御.無効”に設定し、[適用]ボタンをクリックします。

※一度“電力制御.無効”に設定した後は、以後、設定が変更されることはありません。

電力制御オプション

電力制御: 電力制御.無効
消費電力監視単位: Watt
消費電力モニタリング有効: ☒

適用

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.62以降
サーバブレード BIOS/iRMC 全版数

MMB FW 6.56S 版で追加の項目

1. コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード(10Gbps 18/8+2)搭載時の注意事項

BX920 S3、BX924 S3、BX920 S4、BX924 S4 サーバブレード搭載したシステムにおいて、ファブリック 1 にコンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、またはスイッチブレード (10Gbps 18/8+2) を搭載した場合、システムの電源を投入した時に下記のエラーメッセージが記録されますが動作には影響ありませんので、本メッセージは無視してください。

YYYY-MM-DD HH:MM:SS Minor BE3 Autoconfiguration failed for Server Blade-*.

(* : スロット番号)

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56S 以降

2. コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) の品名が正しく表示されない

Web ユーザインターフェースや CLI インターフェースでコンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) の品名が SBAX3 と表示される場合があります。読み替えてください。

(例：スロット 1 にコンバージドファブリックスイッチブレードが搭載された場合)



(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[コネクションブレード]メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56S 以降

MMB FW 6.56 版で追加の項目

1. 適応型電力制限の使用時の注意について

消費電力モードを[適応型電力制限](注 1)に設定する場合、サーバブレードの負荷の上昇や、サーバブレードの増設などによりシステムユニットの消費電力が増加した時に、適応型電力制限に設定したサーバブレード(注 2)(注 3)の性能が低下することがあります。性能を低下させたくない場合は、本モードに設定しないでください。

(注 1) マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 / 6.56S の場合

Web ユーザインターフェース[情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[設定]タブの[電力の供給状況の表示・設定]ボックスの [適応型電力制限を有効にする] を選択。

マネジメントブレード ファームウェア Ver6.62 の場合

Web ユーザインターフェース[情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[消費電力]タブの[システムの消費電力モード]を[適応]を選択。

(注 2) マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 / 6.56S 以前の場合

Web ユーザインターフェース[情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[設定]タブの[サーバブレードの消費電力制御]-[消費電力モード]メニューで[適応型]を選択する

(注 3) マネジメントブレード ファームウェア Ver6.62 以降の場合

[システムの消費電力モード]を[適応]に設定すると、すべてのサーバブレードの消費電力モードが[適応]に設定されます。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56 以降

2. マネジメントブレードファームウェア Ver.6.56 以降へのアップデート時の注意

消費電力モード「強制」(注)で運用中に、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42 以前から Ver6.56 以降へアップデートした場合、設定済みの「最大入力電力制限」の値の見直しが必要な場合があります。以下の手順に従って「最大入力電力制限」の値を設定し直してください。

1. Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[設定]-[強制モード]
2. 強制モードの「許容最小入力電力制限の現在値」の値を確認する。
3. 「最大入力電力制限」の値に「許容最小入力電力制限の現在値」以上の値を入力する。

強制モード
許容最小入力電力制限の現在値: 1602 ワット
最大許容入力電力制限: 3570 ワット
最大入力電力制限 <input type="text"/> ワット
注: 入力された制限値は、上記の許容最小値と最大値の間にする必要があります。

(注) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[設定]-[電力の供給状況の表示・設定]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56 以降

MMB FW 6.42 版で追加の項目

1. コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]で AuDi-MIP 機能が使用できない

次のスイッチブレードでは、AuDi-MIP 機能(注)が未サポートのため、管理ポートの IP アドレスは、手動または DHCP により設定してください。

- ・ コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]

他のコンポーネントで AuDi-MIP 機能による IP アドレス自動設定を行い、上記スイッチブレードのみ別の方法で設定する場合は、以下の注意が必要です。

【手動設定の場合】

他のコンポーネントの IP アドレス設定が終わってから、スイッチブレードの設定を行ってください。

【DHCP の場合】

[AuDi-MIP]の[基本設定]で[AuDi-MIP コネクションブレード管理コントローラ設定]が有効な場合、DHCP によるスイッチブレードの IP アドレス設定はできません。[詳細設定]でスイッチブレードを対象から除外して設定してください

(注) Web ユーザインターフェース [設定]-[システムユニット]-[AuDi-MIP]メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42 以降

2. コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730] の情報が正しく表示されない

Web ユーザインターフェースで、コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]の「管理 URL」が正しく表示されません。

以下の例に従って、SM CLP 経由で確認してください。

ブレード情報	
製造元:	FUJITSU
製造年月日:	06/11/2012 11:28:00
シリアル番号:	CAM0414H00V
製品名:	PY CB DCB SW 10Gb 18/6/6 (Brocade)
ユニット図番:	A3C40139815
ハードウェア版数:	C0
ファームウェア版数:	v2.1.1_fuj_bld15
アセットタグ:	TT_tmp
管理URL:	N/A

(例：CB3 のコンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]の管理 URL を確認する場合)

```
</OEMSVS> BX400S1 -> show ConnectionBlade3/interface
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED
/OEMSVS/ConnectionBlade3/Interface
Properties
....
ConnectionBladeManagementPortIpMode = N/A
ConnectionBladeManagementPortIpAddress = 172.17.145.121 ←管理ポートの IP アドレス
ConnectionBladeManagementPortNetMask = 0.0.0.0
....
ConnectionBladeManagementPortIPv6GatewayAddress = N/A
Verbs
cd exit help set show version
```

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42 以降

3. コンバードスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730] の IP 表示の更新ができない

Web ユーザインターフェースから、コネクションブレード管理ポートの設定メニューの「表示の更新」ボタンを使用した IP 表示の更新(注)ができません。

IP 表示の更新を行う場合は Web ユーザインターフェースの「表示の更新」を用いて下さい。

情報 電源管理 設定

管理ポートの設定	
IPアドレス: 172.17.147.84	
VLANを有効にする: <input type="checkbox"/>	VLANなし
VLAN ID(2-4094): <input type="text" value="0"/>	0
IPv6	
Address: 1e11:9354:000:000:5ce7:3900:000:000	
<div>表示の更新 適用</div>	

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[ブレードシステム]-[コネクションブレード]-[Brocade VDX 2730-*]-[設定]タブ-[管理ポートの設定]メニューの「表示の更新」。

対象コンポーネント: マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42 以降

MMB FW 6.33 版で追加の項目


1. マネジメントブレードファームウェア Ver.6.33 以降へのアップデート時の注意

スイッチブレード (1Gbps 36/8+2) が搭載された構成でマネジメントブレード ファームウェアを Ver.6.33 以降にアップデートする場合、スイッチブレード (1Gbps 36/8+2) のファームウェアを必ず Ver.6.24 以降にアップデートしてください。下記のファームウェア版数の組み合わせでは、シャーシの電源投入時にスイッチブレード (1Gbps 36/8+2) への接続ができなくなる問題が稀に発生します。

対象コンポーネント: マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降、
スイッチブレード (1Gbps 36/8+2) ファームウェア Ver.4.14 以前

2. ハードウェア不適合が発生する

下記の構成では、サーバブレードに搭載された拡張ボードとスイッチブレード間のハードウェア不適合が発生します。機能上は問題ありませんが、ハードウェア不適合によりシステムの状態が異常となります。その場合は、マネジメントブレード Web ユーザインターフェースで[エラーを無視する]機能を有効にしてください。

なお、[エラーを無視する]を有効にしても、Web ユーザインターフェースで[ハードウェア不適合の状態]に警告マーク  が表示されますが、問題ありません。

(サーバブレード)

メザニカード 2 に SAS コントローラ拡張ボードまたは SAS アレイコントローラ拡張ボードを搭載し、拡張ボードと内蔵ストレージを接続。

(シャーシ)

ファブリック 3 に SAS スwitchブレード (6Gbps 18/6) 以外のスイッチブレードを搭載。

設定方法と設定解除方法は以下のとおりです。

【設定方法】

- ① [設定]-[基本設定ウィザード]-[ハードウェアチェック]メニューを開く。
- ② [ハードウェアチェック]の[開始]ボタンをクリックする。
- ③ [エラーを無視する]にチェックを入れる。
- ④ メニュー右下の[次へ]ボタンをクリックする。
- ⑤ 次のメニューが表示されたら、右下の[終了]ボタンをクリックする。

【設定解除方法】

- ① ハードウェアの不適合が発生している全てのサーバブレードをシャーシから外す。
- ② [エラーを無視する]のチェックを外す。
- ③ メニュー右下の[次へ]ボタンをクリックする。
- ④ 次のメニューが表示されたら、右下の[終了]ボタンをクリックする。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降。
BX920 S2、BX920 S3、BX924 S3

3. Internet Explorer 9 使用時のマネジメントブレード設定バックアップの注意について

https 接続で Web ユーザインターフェースを使用している場合は、マネジメントブレード設定のバックアップができません。Internet Explorer 9 を用いてマネジメントブレード設定のバックアップを実施する場合は、http 接続に変更してバックアップを実施して下さい。なお、http 接続にする場合は、[強制 HTTPS の有効](注)のチェックが外れていることを確認してください。

(注) Web ユーザインターフェース [設定]-[システムユニット]-[ネットワークインタフェース]-[管理 LAN]-[ネットワークの設定]タブ-[Web ベースのアクセス]-[強制 HTTPS の有効]

Web ブラウザが、Internet Explorer 8 以前または Firefox であれば問題ありません。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降

MMB FW 6.22 版で追加の項目

1. iRMC LAN ポート (LAN セレクタ) の設定時の注意について

iRMC の LAN ポート (LAN セレクタ) (注) を LAN1 または LAN2 に設定している場合、ポートのリンクが切れると、もう一方の LAN ポートに自動的に切り替わります。そのため、iRMC の LAN ポートは LAN1 と LAN2 の両方のパスから監視できるような環境でご使用いただくか、Management LAN をご使用ください。

特に以下の対象の版数では、コネクションブレードのリセット、もしくはシャーシの AC オフ/オンの場合も切り替えが発生しますのでご注意ください。

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[サーバブレード-*]-[設定]タブ-[iRMC アドレス設定]-[LAN ポート]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 以降

2. マネジメントブレードの VLAN IP アドレス設定について

マネジメントブレードの管理 LAN で VLAN の IP アドレスを設定した場合、設定を有効にするためにマネジメントブレードの再起動(注)が必要です。

(注) マネジメントブレード 1 台搭載の場合は、[コンポーネント]-[マネジメントブレード-1]-[設定]タブで[再起動]、2 台搭載の場合は、[動作モードの変更]を実行してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 以降

3. マネジメントブレード電源投入/切断順序 (Sequence Power-On/Off Time) 機能について

[電源投入/切断順序 (Sequence Power-On/Off Time)] (注1) を設定する場合は、次のことに注意してください。

- ・ [電源投入/切断ポリシー] で [全てのサーバブレード] を選択してください。全てのサーバブレードが選択されていない、またはサーバブレードを増設する場合は、いったん設定を無効にしてから、再度設定を行ってください。
- ・ [電源投入順序] は必ず設定してください。左ボックスから右ボックスに移動したサーバブレードの電源が投入されます。
- ・ 本機能は、[スケジュール運転の設定] (注2) との組み合わせでのみ動作します。

(注1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[電源投入/切断順序] タブのメニュー

(注2) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[制御] タブの [スケジュール運転の設定] メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 以降

(Ver.6.13 以前の版数では、本機能は未サポートです。)

MMB FW 6.13 版で追加の項目

1. ファイバーチャネルスイッチブレード管理ポートの DHCP 設定が初期化されない

マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 では、[インターフェース設定をデフォルトにリセット] (注) を実行しても、ファイバーチャネルスイッチブレード管理ポートの DHCP 設定が初期化されない問題があります。管理ポートの初期設定は DHCP 有効ですが、無効に設定している場合、リセットを実行しても有効に戻りません。リセット後、必要に応じて設定を行ってください。

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[コネクションブレード]-[FC スイッチ]-[設定] タブ-[インターフェース設定をデフォルトにリセット]

MMB FW 全版数 共通項目

1. USB/DVD が割り当てられたサーバブレードの確認方法

マネジメントブレード Web ユーザインターフェース(標準モード)のフロントビューから USB/DVD が割り当てられたサーバブレードを判別できない場合は、下記のいずれかの方法で確認してください。

1. インターネットエクスプローラの設定を変更し Web ユーザインターフェース(標準モード)のフロントビューで確認
インターネットエクスプローラをご使用の場合、ブラウザの[ツール]-[インターネットオプション]-[詳細設定]を選択し、オプション一覧の[マルチメディア]グループにある[Web ページのアニメーションを再生する]を有効にしてください。
2. マネジメントブレード Web ユーザインターフェース(詳細モード)で確認
[コンポーネント]-[フロントサイド IO モジュール]を選択し、フロントビューの[USB/DVD の割り当て]の項目で該当のサーバブレードを確認してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア 全版数

SVIM V11.14.11 版で追加の項目

1. Easy Installation(簡易インストール)機能について

Easy Installation (簡易インストール) 機能 (注) により、複数のサーバブレードに対して一括で OS インストールを行うことができます。本機能のご使用にあたっては、以下の留意事項があります。

- (1) ServerView Suite Version 10.11.02 以降を使用してください。
- (2) 同一 OS、同一設定の場合に、機種に依らず複数サーバへの一括インストールができます。
- (3) SVIM USB スティックの作成方法は、ServerView Suite の版数によって異なります。詳細は、ServerView Suite ServerBooks DVD に収録されている ServerView Installation Manager 取扱説明書を参照してください。Web ユーザインターフェースのヘルプ画面で表示される SVIM USB スティックの作成方法は、実際とは異なる場合がありますので注意してください。
- (4) SVIM USB スティックは、最低 8 GB の USB メモリを使用してください。また、なるべく高速なものを推奨します。
- (5) [適用]ボタンをクリックしてから、10 分以内に[インストールの開始]ボタンをクリックしてください。
- (6) インストールを途中で中止した場合、または、インストールに失敗した場合、サーバブレードはシャットダウンされません。サーバブレードの電源ボタン操作、もしくは、マネジメントブレードの Web ユーザインターフェースよりサーバブレードの電源を落としてください。
- (7) Windows の Service Pack は適用されません。Service Pack の適用が必要な場合は、OS インストール後に手動で適用してください。
- (8) OS のインストール媒体は間違えないようにセットしてください。もし、間違えた場合は、操作を最初からやり直してください。
- (9) マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.03 では、Linux のインストールを行った場合、OS インストール後に次の項目を設定する必要があります。
 - ・ 言語
 - ・ タイムゾーン
 - ・ キーボードレイアウト
 - ・ UTC 設定の有効
 - ・ 時刻

(10) 言語・タイムゾーンの設定について

- ・ マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 以前では、言語・タイムゾーンはマネジメントブレードの設定が自動的に参照されます (Linux の場合は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13) 。必要に応じて、再設定してください。言語を日本語にする場合は、あらかじめ Web ユーザインターフェースの言語設定を日本語にしてください。
- ・ マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 以前では、言語・タイムゾーンはマネジメントブレードの設定が自動的に参照されます (Linux の場合は、マネジメントブレードのファームウェア Ver. 6.13) 。必要に応じて、再設定してください。言語を日本語にする場合は、あらかじめ Web ユーザインターフェースの言語設定を日本語にしてください。
- ・ マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 では、[OS のインストールオプション(OS Installation Options)]メニューの[地域と言語のオプション(Regional and Language Options)]で言語・タイムゾーンを設定します。ただし、Web ユーザインターフェースの言語設定が日本語の場合、[地域と言語のオプション]のプルダウンメニューが全て[something Japanese]と表示される問題があります。日本語を選択する場合は、プルダウンメニューの一番下の文字列を選択するか、または、Web ユーザインターフェースの言語設定を英語に変更してから[Japanese (Japan)]を選択してください。



- (11) 管理者パスワードは14文字までしか設定できません。15文字以上のパスワードを設定する場合は、OSインストール後に再設定してください。
- (12) 管理者のパスワードで使用できる文字数、文字種類は、OS毎に異なりますが、要件を満たしているかどうかマネジメントブレードはチェックしません。パスワードは、OSの要件を満たしているかどうか事前に確認した上で設定してください。
- (13) インストール後のホスト名は、"Blade-<スロット番号>-<7桁の乱数>" が自動的に設定されます。必要に応じてホスト名を変更してください。
- (14) 本機能は、SAN ブート環境へのインストールに対応していません。
- (15) インストール対象のディスクは、内蔵の論理ディスクが優先されます。内蔵、ストレージブレード両方に論理ディスクが存在する場合は、内蔵ディスクにインストールされます。
- (16) Easy Installation(簡易インストール)機能を用いた ESXi のインストールはできません。ESXi をインストールする場合は ServerView Installation Manager を用いたインストールをご使用ください。詳細は、ServerView Suite ServerBooks DVD に収録されている ServerView Installation Manager 取扱説明書を参照してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56

- (17) ServerView Installation Manager V11.14.11 と Easy Installation(簡易インストール)機能を用いた Windows Server 2012 R2 のインストールはできません。Windows Server 2012 R2 をインストールする場合は ServerView Installation Manager を用いたインストールをご使用ください。詳細は、ServerView Suite ServerBooks DVD に収録されている ServerView Installation Manager 取扱説明書を参照してください。

対象コンポーネント： ServerView Installation Manager V11.14.11

(注) Web ユーザインターフェース [情報]-[操作]-[インストール管理]-[OS のインストール]

修正・対応済項目

最新のファームウェアについては、PRIMERGY ホームページの「[ダウンロード](#)」より入手してください。

MMB FW XXX 版で追加の項目

1. 【対応済み】BX2560 M1 の搭載について

BX400 シャーシと BX2560 M1 サーバブレードの組み合わせは未サポートであり、ご使用になれません。

2015 年 1 月 9 日にサポート可能となりました。

MMB FW 6.91 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】コネクションブレードの状態表示について

シャーシにコネクションブレードを搭載した状態でシャーシ電源を投入した際、シャーシの電源投入状態でコネクションブレードをシャーシに搭載した際、またはマネジメントブレード Web ユーザインターフェースからコネクションブレードの再起動を行った際に、マネジメントブレードのイベントログに以下のエラーメッセージが記録される場合があります。

Connection Blade-x(注 1) status is critical.

(注 1) 「x」はコネクションブレードのスロット番号

この現象は、マネジメントブレードがコネクションブレードの状態を誤認識するため、10～30 秒後にエラーは解除され正常状態となりますので、コネクションブレードの状態表示 LED が正常状態であれば、そのままの状態でご使用頂いて問題はありません。

また、上記のエラーメッセージと共に、コネクションブレードの状態表示 LED が緑/オレンジの交互点滅となる場合があります。

本現象が発生した場合は、シャーシから該当するコネクションブレードを一旦取り外し、1 分程経過した後、再度シャーシに取り付けてください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.86 以降

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.91 で修正しました。

MMB FW 6.88 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】クライアント認証について

クライアント認証に必要なユーザー証明書(注)がダウンロードできないため、クライアント認証は使用できません。

(注) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[証明書の操作]-[ユーザー証明書]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver. 6.75 以降

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.88 で修正しました。

2. 【修正済み】IP フィルタリングについて

下記メニューにて[管理 LAN]に対して設定できる[IP フィルタリング](注)の機能は IPv6 に対しては正しく動作しません。

(注) Web ユーザインターフェース [設定]-[システムユニット]-[ネットワークインタフェース]-[管理 LAN]-[IP フィルタリング]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア 全版数

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.88 で修正しました。

MMB FW 6.84 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】コンバードファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) で AuDi-MIP 機能が使用できない

次のスイッチブレードでは、AuDi-MIP 機能(注)が未サポートのため、管理ポートの IP アドレスは、手動または DHCP により設定してください。

- ・ コンバードファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)
- ・ スwitchブレード (10Gbps 18/8+2)

他のコンポーネントで AuDi-MIP 機能による IP アドレス自動設定を行い、上記スイッチブレードのみ別の方法で設定する場合は、以下の注意が必要です。

【手動設定の場合】

他のコンポーネントの IP アドレス設定が終わってから、スイッチブレードの設定を行ってください。

【DHCP の場合】

[AuDi-MIP]の[基本設定]で[AuDi-MIP コネクションブレード管理コントローラ設定]が有効な場合、DHCP によるスイッチブレードの IP アドレス設定はできません。[詳細設定]でスイッチブレードを対象から除外して設定してください

(注) Web ユーザインターフェース [設定]-[システムユニット]-[AuDi-MIP]メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42 以降

本問題は、下記版数ファームウェアで修正しました。

マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.84

コンバードファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2) V02.11 NY0033

スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) V01.00 NY0023

2. 【修正済み】Internet Explorer 10 使用時の注意について

Internet Explorer 10 を使用して Web ユーザインターフェースの操作をする場合、[システム名]欄(注 1)を選択した後に、任意の場所をマウスでクリックするとエラーメッセージが表示されます。

Internet Explorer 10 を使用する場合は、ブラウザのアドレスバーにある[互換表示]ボタン(注 2)をクリックして互換表示を有効にしてください。

(注 1) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[ブレードシステム]-[システムユニット]-[ブレードシステム情報]の[システム名]

(注 2) ブラウザのアドレスバーにある[互換表示]ボタン (四角で囲った箇所)



対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア 全版数

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.84 で修正しました。

MMB FW 6.73 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】[強制電源切断機能を有効にする]設定について

サーバブレードの[電源管理設定](注)の[強制電源切断機能を有効にする]を有効、かつ[スケジュール運転の設定]にて[電源切断時刻]が設定されている場合、必ずスケジュール運転による電源切断が動作せず、その[電源切断失敗後、強制電源切断が働くまでの待ち時間]後に、強制電源切断となります。強制電源切断が不適切な場合は、使用しないでください。

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[設定]タブ-[電源管理設定]

対象コンポーネント: マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62、6.63

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.73 で修正しました。

2. 【修正済み】スイッチブレード (10Gbps 18/8)、コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2)の [管理 ポートの設定] について

スイッチブレード (10Gbps 18/8)、コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2)の[管理ポートの設定] (注) において、DHCP 有効かつ VLAN を構成している状態で DHCP より IP アドレス取得後に、VLAN ID を変更した場合、DHCP から新規に IP アドレスが取得できません。コネクションブレードのリセット、もしくは、抜き差しが必要です。

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[コネクションブレード]-[設定]タブ-[管理ポートの設定]

対象コンポーネント: マネジメントブレードファームウェア Ver.6.62、6.63

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.73 で修正しました。

3. 【修正済み】コンバインドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード (10Gbps 18/8+2) の IPv6 アドレス情報が正しく表示されない

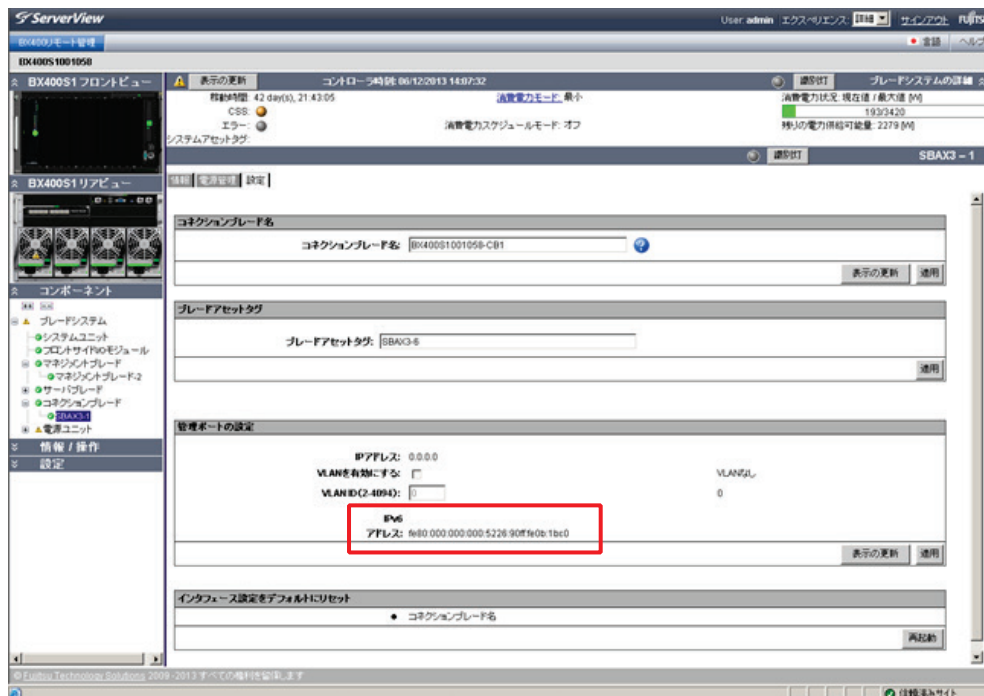
System information dump の中の"Connection Blade IPv6 Address"に正しい IPv6 アドレスが表示されないことがあります。IPv6 アドレスを確認する場合は Web ユーザインターフェースのコネクションブレードの[設定]タブで確認してください。

(例 : System information dump の中の Connection Blade 1 の IPv6 Address の場合)

```
+-----+
+           Connection Blade
+-----+
**** Connection Blade 1 ****

...
User Assigned Name       : BX400-CB1
VLAN ID                  : 0
Connection Blade IPv6 Address : _____ ← IPv6 アドレス
Connection Blade Consumption : 50.00W
```

(例 : スロット 1 にコンバインドファブリックスイッチブレードが搭載された場合)



(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[コネクションブレード]-[SBAX-*]-[設定タブ]-[管理ポートの設定]

対象コンポーネント : マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56S 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.73 で修正しました。

4. 【修正済み】コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード(10Gbps 18/8+2)、スイッチブレード(10Gbps 18/8+2)搭載時の注意事項

BX920 S3、BX924 S3、BX920 S4、BX924 S4 サーバブレード搭載したシステムにおいて、ファブリック 1 に搭載したコンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX2730]、コンバージドファブリックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)、またはスイッチブレード (10Gbps 18/8+2) と外部ストレージを接続する時は、以下の手順に従って設定願います。出荷時設定から変更している場合、BX920 S3、BX924 S3、BX920 S4、BX924 S4 サーバブレードから外部ストレージが認識されないことがあります。

BX920 S3、BX924 S3、BX920 S4、BX924 S4 サーバブレードのオンボード設定を

CNA モードでデフォルト設定 (10GBx2 + FCoE) をしている場合：

- ① [インベントリ収集方法の指定](注 1)を[自動]に設定されていることを確認する

CNA モードでデフォルト以外の設定 (10GBx2 + FCoE 以外) をしている場合：

以下の手順に従って設定してください。

- ① [インベントリ収集方法の指定](注 1)を[手動]に設定
- ② [電源投入/切断ポリシー]メニューの[連続スケジュール運転の設定を有効にする]を有効にする(注 2)
- ③ [システムユニットの電源投入からサーバブレードの電源投入までの待ち時間(0-60)]を 5 分以上に設定する(注 2)
- ④ 構成サーバベイに該当する S3 または S4 サーバを選択して、適用ボタンを押下して反映させる(注 2)

(注 1) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[ブレードシステム]-[システムユニット]-[ブレードシステム情報]の[インベントリ収集方法の指定]メニューで設定します。

(注 2) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[電源投入/切断順序]タブの[電源投入/切断ポリシー]メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.73 で修正しました。

5. 【修正済み】マネジメントブレードバックアップ設定の注意について

マネジメントブレードのバックアップ設定(注)にて、ローカルファイルにバックアップする場合は、バックアップ形式をバイナリ形式にして下さい。XML 形式を選択できますが、バックアップはできません。

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[マネジメントブレード]-[マネジメントブレード-*]-[バックアップ/復元]タブ
(*：スロット番号)

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.73 で修正しました。

6. 【修正済み】iRMC の VLAN 設定について

iRMC の LAN ポート(LAN セレクタ)(注)を LAN1 または LAN2 に設定している場合、VLAN の設定ができません。

iRMC の VLAN を使用する場合は、LAN ポート(LAN セレクタ)を管理 LAN に設定してご使用ください。

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[サーバブレード-*]-[設定]タブ-[iRMC アドレス設定]-[LAN ポート]
(*：スロット番号)

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.73 で修正しました。

MMB FW 6.62 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】グローバルディレクトリサービスの設定が反映されない

グローバルディレクトリサービスのドメイン名を設定して、適用ボタンを選択しても基本ドメイン名(注)に反映されません。
以下の例に従って、設定を反映してください。

1. ドメイン名にデータを入力する。
2. 適用ボタンを押下する。
3. マネジメントブレードの動作モードの変更またはリブートを実施する。

グローバルディレクトリサービスの設定

LDAPを有効にする: ☐
LDAP SSLを有効にする: ☐
ローカルIDでのログイン禁止: ☐
常にSSLログインを使用: ☒
ディレクトリサーバの種類: Active Directory

IPv4
LDAPサーバ 1: 0 . 0 . 0 . 0
LDAPサーバ 2: 0 . 0 . 0 . 0
IPv6
LDAPサーバ 1:
LDAPサーバ 2:
ドメイン名:
基本ドメイン名:
検索範囲:
Department:
適用

(注) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[ユーザー管理]-[グローバルユーザー]-[グローバルディレクトリサービスの設定]の[基本ドメイン名]

対象コンポーネント: マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 で修正しました。

2. 【修正済み】シャーシのスケジュール運転の設定時のエラー画面表示について

シャーシのスケジュール運転(注)を設定後、適用ボタンを押すと以下のようなエラー画面が表示されますが、設定に問題はありません。
Web ユーザインターフェースの「表示の更新」を実施することで復旧します。

電源管理

監視 制御 設定 電源投入/切断順序

Warning: Cannot modify header information - headers already sent by (output started at /var/www/html/phpfiles/inc_svr_adaptive.php:1) in /var/www/html/phpfiles/op_power_mgt_ctrl.php on line 162

(注 1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[制御]-[スケジュール運転の設定]

対象コンポーネント: マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 で修正しました。

3. 【修正済み】サーバブレードのファームウェアアップデート後にエラーログが記録される

Web ユーザインターフェースから iRMC のアップデートを実施した場合、下記のエラーメッセージがマネジメントブレードのイベントログに記録されることがありますが、動作上問題ありません。

YYYY-MM-DD HH:MM:SS Major IPMB bus to Server Blade-* is failed.

YYYY-MM-DD HH:MM:SS Info/Normal Server Blade-* iRMC update ok.

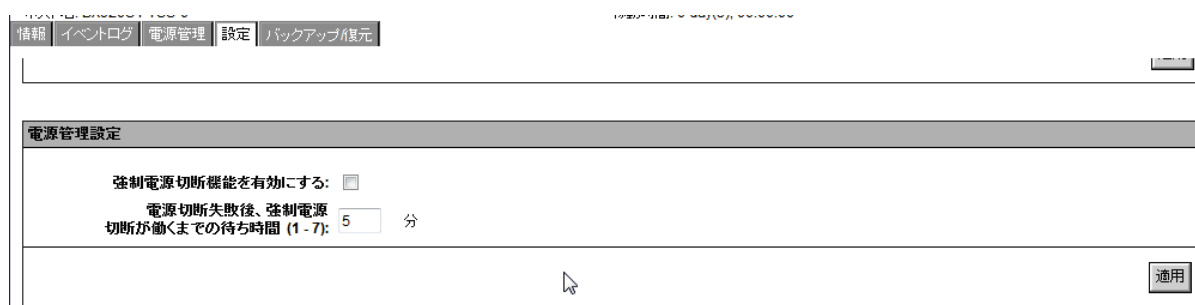
(* : スロット番号)

対象コンポーネント : マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 で修正しました。

4. 【修正済み】サーバブレードの強制電源切断機能について

Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[設定]タブの[電源管理設定]メニューの強制電源切断機能は使用できません。



対象コンポーネント : マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 で修正しました。

5. 【修正済み】LCD パネルに表示されるヘルプ内容が正しくない

LCD パネルに表示される各メニューのヘルプ内容が正しくありません。各メニュー内容については、『PRIMERGY BX400 マネジメントブレード S1 Web ユーザインターフェース リファレンスマニュアル』の「基本設定ウィザード」の項を参照ください。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 で修正しました。

6. 【修正済み】コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]の接続ブレード名の注意について

Web ユーザインターフェースからコンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]の接続ブレード名(User Assigned Name) (注)を変更した場合、シャシのオフ/オンまたはマネジメントブレードのモード切り替え時または再起動後、接続ブレード名が変更前の値に戻ります。以下の例に従って、SM CLP 経由でコンソールリダイレクションから変更してください。

(例：接続ブレード名を“test3”に変更する例)

```
test2# configure
Entering configuration mode terminal
test2(config)# switch-attributes 1
test2(config-switch-attributes-1)# host-name test3 ←接続ブレード名を test3 に変更する例
2012/09/19-08:11:50, [IPAD-1002], 2495,, INFO, chassis,
Switch name has been successfully changed to test3.
test2(config-switch-attributes-1)# end
test3# copy running-config startup-config
This operation will modify your startup configuration.
Do you want to continue? [y/n]:y
test3#
2012/09/19-08:12:08, [DCM-1101], 2496,, INFO, chassis,
Copy running-config to startup-config operation successful on this node.

test3# show running-config switch-attributes
switch-attributes 1
  chassis-name chassis
  host-name test3
!
test3#
```

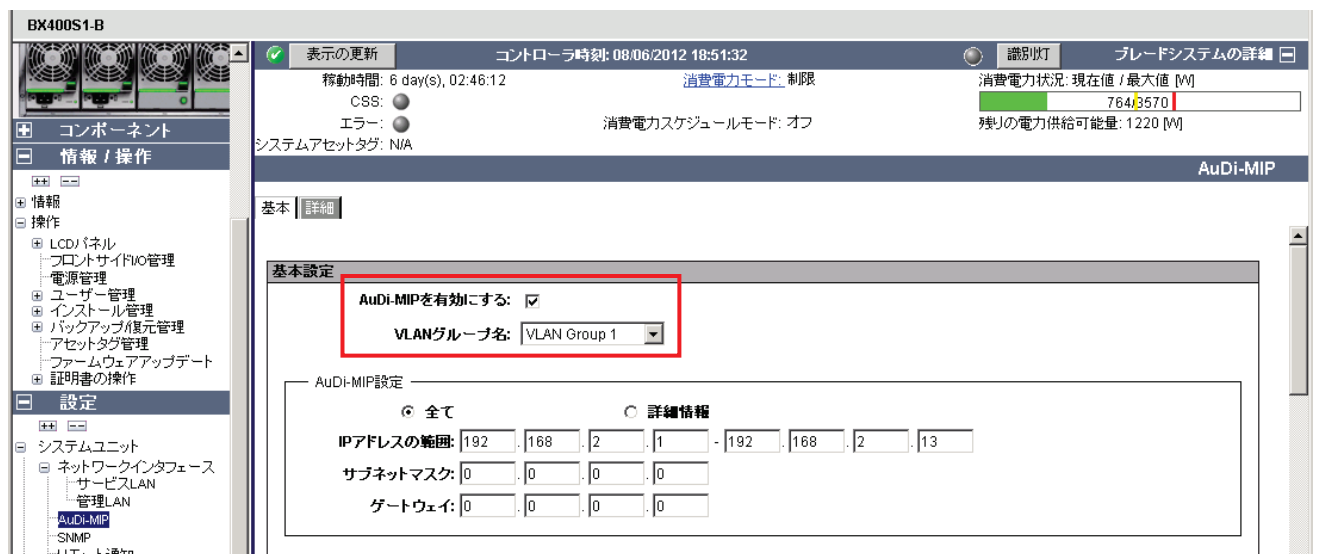
(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[接続ブレード]-[対象の接続ブレード]-[設定]タブの[接続ブレード名]メニューで設定します。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42 以降
コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) ファームウェア 2.1.1_fuj

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 で修正しました。

7. 【修正済み】マネジメントブレードの AuDi-MIP で、VLAN の IP アドレスが割り振られない

VLAN を有効にした状態で Audi-MIP 機能(注)を使用した場合、IP アドレスが自動で割り振られません。VLAN を使用する場合は固定 IP アドレスを使用して下さい。



(注) Web ユーザインターフェース [設定]-[システムユニット]-[AuDi-MIP]メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 で修正しました。

MMB FW 6.56 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】電源のダイナミックモード設定について

[電源のダイナミックモード](注 1)を設定している環境で、[電源ユニット管理を有効にする](注 2)の設定を無効にする場合、以下の手順に従って設定を無効にしてください。

1. [電源のダイナミックモード]設定を[標準]または[拡張]から[無効]に選択後、[適用]ボタンを押下して設定を反映させる。
2. [電源ユニット管理を有効にする]設定のチェックボックスからチェックをはずし、[適用]ボタンを押下して設定を反映させる。
3. マネジメントブレードの動作モードの変更またはリブートを実施する。

(注 1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[電力の供給状況の表示・設定]-[電源のダイナミックモード]メニュー

(注 2) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[電力の供給状況の表示・設定]-[電源ユニット管理を有効にする]メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56 で修正しました。

2. 【修正済み】SAS スイッチブレード (6Gbps 18/6) の IP アドレス設定について

SAS スイッチブレード (6Gbps 18/6) の管理ポートには、必ず固定の IP アドレスを設定してください。DHCP サーバ及びマネジメントブレードの Audi-MIP 機能による自動設定は未サポートです。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 以降

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.56 で修正しました。

3. 【修正済み】コンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]の LCD パネル表示について

LCD パネルにコンバージドスイッチブレード (10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]のファームウェア版数が表示されません。

以下の例に従って、SM CLP 経由でコンソールリダイレクションから確認してください。

(例：コネクションブレード名が、“VDX2730”の場合)

```
VDX2730# show system
Stack MAC                : 00:05:33:EE:17:78
  -- UNIT 0 --
Unit Name                 : VDX2730
  ....
NOS Version               : v2.1.1_fuj_bld15 □ファームウェア版数
Jumbo Capable             : yes
Burned In MAC             : 00:05:33:EE:17:78
Management IP             : 172.17.145.133
Management Port Status    : UP
  -- Power Supplies --
Not supported on this platform
  -- Fan Status --
Not supported on this platform
```

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.42

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

4. 【修正済み】LAN パススルーブレード (10Gbps 18/18) を CB スロット 2 に搭載する場合の注意

LAN パススルーブレードをコネクションブレードスロット 2 に搭載して使用する場合、下图の「A,D」、「B,E」、「C,F」のグループ毎に速度設定 (10Gbps/1Gbps) を行います。グループ A,B,C,D,E,F に個別の速度設定をする場合は、以下の例に従って、SM CLP 経由でコンソールリダイレクションから変更してください。(SM CLP 経由で設定した場合、Web ユーザーインターフェースの表示は変わりませんが問題ありません。)

ダウンロードポートグループの速度設定

1000 Mbps 10 Gbps ポートを利用できません

接続されているサーバベイ

接続されているサーバベイ

接続されているサーバベイ

ポートグループ: Server Bays 1-3

ポートグループ速度: 10 Gbps 1000 Mbps

表示の更新 適用

(例：グループ D を 1Gbps に設定したい場合)

```
</OEMSVS> BX400S1 -> cd ConsoleRedirection
</OEMSVS/ConsoleRedirection> BX400S1 -> set
ConsoleRedirectionTo=CB2

Login: admin
Password: *****
& set port group D speed 1
```

(例：グループ E を 10Gbps に設定したい場合)

```
</OEMSVS> BX400S1 -> cd ConsoleRedirection
</OEMSVS/ConsoleRedirection> BX400S1 -> set
ConsoleRedirectionTo=CB2

Login: admin
Password: *****
& set port group E speed 10kr
```

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

5. 【修正済み】スイッチブレード(10Gbps 18/8)の IPv6 アドレスが表示されない

Web ユーザインターフェースにスイッチブレード (10Gbps 18/8) の IPv6 アドレスが表示されません。

以下の例に従って、SM CLP 経由でコンソールリダイレクションから確認してください。

(例 : CB1 の IPv6 アドレスを確認する場合)

```
</OEMSVS> BX400S1 -> cd ConsoleRedirection
</OEMSVS/ConsoleRedirection> BX400S1 -> set ConsoleRedirectionTo=CB1

BX400S1Q00174-CB1# show oob
IP Address   : 192.168.2.46
Subnet Mask  : 255.255.255.0
Protocol     : Static
IPv6 Address: fe80::217:42ff:fed7:3140/64
IPv6 Address: 2001:db8:20:3:1000:100:20:2046/64
MAC Address  : 00:17:42:d7:31:5b
MMB Ethernet: MMB1
```

←IPv6 アドレス

←IPv6 アドレス

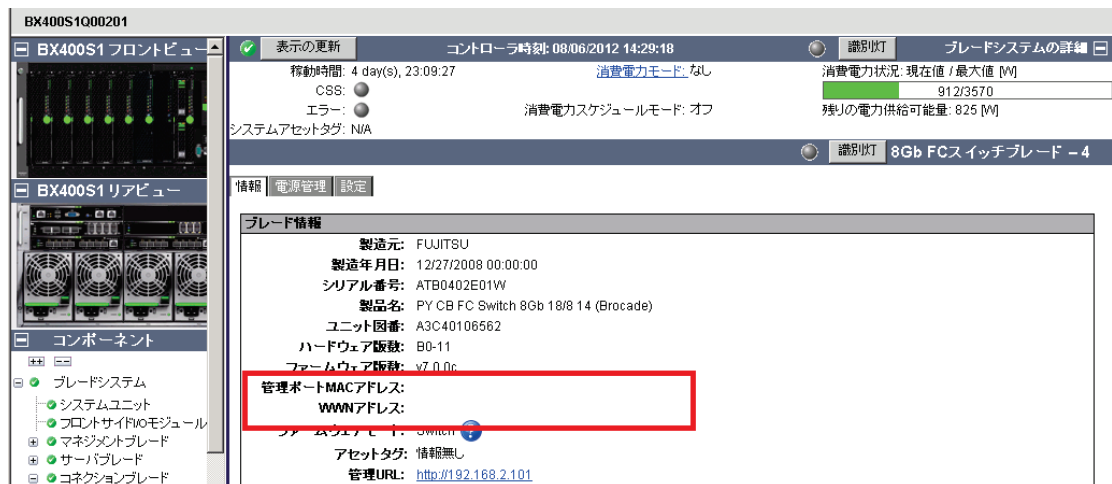
対象コンポーネント : マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

6. 【修正済み】FC スwitchブレードの情報が正しく表示されない

Web ユーザインターフェースで、FC スwitchブレードの「管理ポート MAC アドレス」、「WWN アドレス」が正しく表示されません。

以下の例に従って、SM CLP 経由でコンソールリダイレクションから確認してください。



(例 : CB4 に搭載されたスイッチブレードの情報を確認する場合)

```
</OEMSVS> BX400S1 -> cd ConsoleRedirection
</OEMSVS/ConsoleRedirection> BX400S1 -> set ConsoleRedirectionTo=CB4
Press <Ctrl+Q> Return Console Menu
Fabric OS (BX400S1Q00201-CB4)
BX400S1Q00201-CB4 console login:
adminPassword:

BX400S1Q00201-CB4:admin> ifmodeshoe w eth0
Link mode: negotiated 100baseTx-FD, link ok
MAC Address: 00:05:1E:85:8B:92
IPv6 Address: fe80::217:42ff:fed7:3140/64
IPv6 Address: 2001:db8:20:3:1000:100:20:2046/64
MAC Address: 00:17:42:d7:31:5b
MMB Ethernet: MMB1
```

←管理ポート MAC アドレス

←WWN アドレス

対象コンポーネント : マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

7. 【修正済み】Infiniband スイッチブレードの IP アドレスが正しく表示されない

マネジメントブレード Web ユーザーインターフェースでは、Infiniband スイッチブレードの管理ポート設定(注)を変更しても情報が更新されません。

以下の例に従って、SM CLP 経由でコンソールリダイレクションから設定を確認してください。

(例：CB4 に搭載された 40Gb Infiniband スイッチブレードの管理ポート設定を確認する場合)

コネクションブレード名が、“BX400-CB4”の場合

```
(BX400-CB4) #ifconfig
eth0      Link encap:Ethernet  HWaddr 00:02:C9:11:23:44
          inet addr:172.17.147.187  Bcast:172.17.147.255  Mask:255.255.255.0
          UP BROADCAST RUNNING MULTICAST  MTU:1500  Metric:1
          RX packets:75544 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:2091 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:1000
          RX bytes:4603663 (4.3 MiB)  TX bytes:142051 (138.7 KiB)
          Interrupt:25
          ....

(BX400-CB4) #config_net
=====
| Welcome to The Network Configuration Utility. |
=====
1) Configure Host Networking.
   ....
4) Exit from Network Configuration Utility.
Enter Your Selection: 1

The current HOST configuration is:
NETWORKING=yes
GATEWAY=172.17.147.1
HOSTNAME=
Do you want to change this configuration? [y/N]:N
Used current HOST configuration

=====
| Welcome to The Network Configuration Utility. |
=====
1) Configure Host Networking.
2) Configure IP Address.
3) Configuration for Host Networking and IP Address.
4) Exit from Network Configuration Utility.
Enter Your Selection: 4
Exiting...
```

←MAC アドレス

←IP アドレス

←サブネットマスク

← ゲートウェイアドレス

(注) Web ユーザーインターフェース [コンポーネント]-[コネクションブレード]-[Infiniband スイッチブレード-*]-[設定]タブ-[管理ポート設定]メニュー

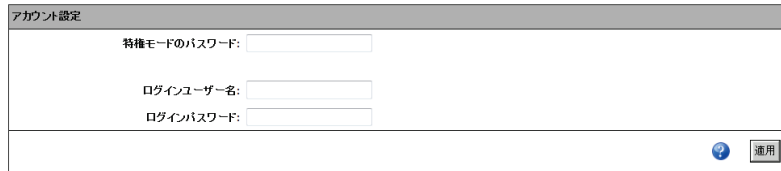
(*：コネクションブレードスロット番号)

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

8. 【修正済み】Infiniband スイッチブレードのアカウント設定について

Web ユーザインターフェースにある[特権モードのパスワード]メニュー(注)は未サポートです。[ログインユーザ名]および[ログインパスワード]に設定するときには、一般ユーザー権限ではなく、管理者権限を持ったユーザーを設定してください。



(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[コネクションブレード]-[Infiniband スイッチブレード-*]-[設定]タブ-[アカウント設定]メニュー

(* : コネクションブレードスロット番号)

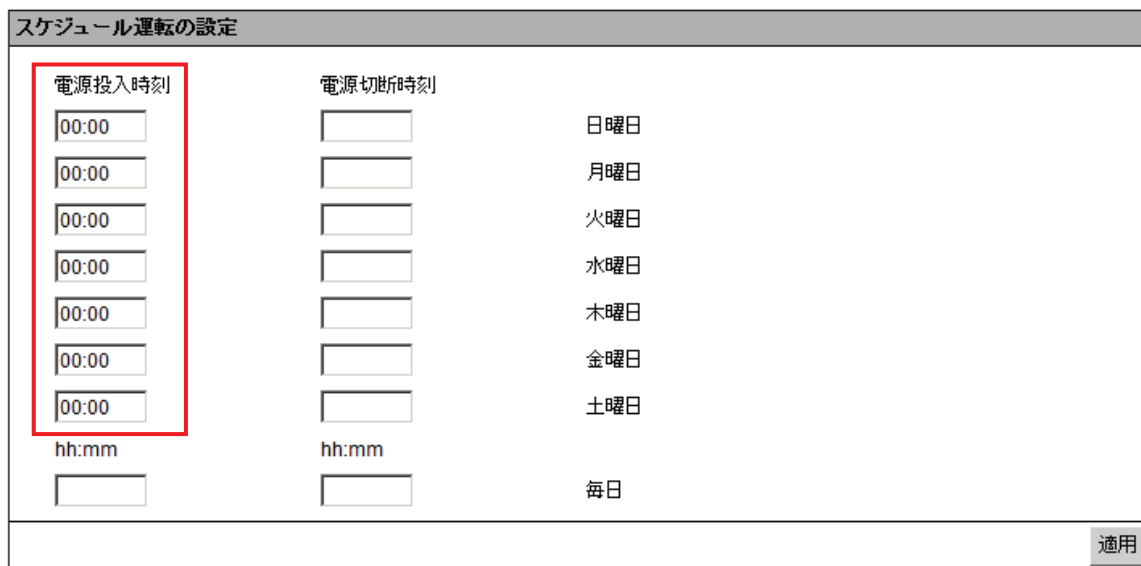
対象コンポーネント : マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

9. 【修正済み】サーバブレードのスケジュール運転に電源投入時刻 00:00 が設定される

サーバブレードをシャーシに搭載した後(注 1)、サーバブレードのスケジュール運転の設定メニュー(注 2)の電源投入時刻に「00:00」が設定される場合があります。

サーバブレードをシャーシに搭載した後は、電源投入時刻の設定値を確認して下さい。電源投入時刻に「00:00」が設定されていた場合は、電源投入時刻の再設定（「00:00」の削除）を行って下さい。



(注 1) サーバブレード購入時や、サーバブレード移設時に注意して下さい。

(注 2) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[サーバブレード-*]-[設定]タブ-[スケジュール運転の設定]メニュー
(* : サーバブレードスロット番号)

対象コンポーネント : マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

10. 【修正済み】iRMC LAN ポート(LAN セレクタ)を管理 LAN に設定できない

Web ユーザインターフェース(日本語)にて iRMC の LAN ポート設定を LAN1 または LAN2 に設定した場合、管理 LAN に設定できなくなります。iRMC LAN ポートの設定を管理 LAN に戻すためには、以下の例に従って、SM CLP 経由で設定してください。

(例：サーバブレード 1 の iRMC LAN ポートを管理 LAN に変更する場合)

```
</OEMSVS> BX400S1 -> cd /OEMSVS/ServerBlade1/iRMC
</OEMSVS/ServerBlade1/iRMC> BX400S1 -> set
iRMCSettingLANSwitch=ManagementLAN
status = 0
status_tag = COMMAND COMPLETED

iRMCSettingLANSwitch = ManagementLAN
```

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.41 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

11. 【修正済み】LCD パネルの注意について

(1) 以下の機能は LCD パネルから設定できません。Web ユーザインターフェースから設定を行ってください。

- ・ サーバブレードのアセットタグ設定
- ・ DHCP を用いた IPv6 アドレス設定
- ・ フロントサイド I/O 管理の USB/DVD 割り当て設定
- ・ Enforced Mode 設定（消費電力閾値の設定）
- ・ PSU の冗長設定

(2) LCD パネルにて CB 画面の参照を行うと、カーソルが消え、LCD パネルからの設定ができなくなる場合があります。本事象は MMB の動作モードの変更を実施することで復旧します。MMB の動作モードの変更は、以下の例に従って実施してください。

コマンドラインインターフェースからの設定方法：

- 1) Telnet/SSH 接続（※）、もしくはシリアル接続にてコマンドラインインターフェースにログイン。

※Web ユーザインターフェースから Telnet/SSH 接続を「有効」にする必要があります。

- 2) 下記コマンドにて、システム名を変更する。

```
</OEMSVS> BX400S1 -> cd /OemFujitsuSiemens/AgentInfo
```

```
</OEMSVS> BX400S1 -> set AgentChangeRoleToSlave=1
```

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

12. 【修正済み】AuDi-MIP 機能使用時の注意について

Web ユーザインターフェースよりシャーシのシステム名を変更することができません。コマンドラインインターフェースを用いて設定を行ってください。
コマンドラインからの設定は以下の通りです。

- (1) 下記のスイッチブレードは、AuDi-MIP による IP アドレス設定ができません。固定 IP アドレスを設定するか、または DHCP を使用してください。

- ・ スイッチブレード(10Gbps 18/8)
 - ・ SAS スイッチブレード(6Gbps 18/6)
- ※固定 IP アドレスを設定してください。DHCP は未サポートです。

なお、他のコンポーネントで AuDi-MIP 機能による IP アドレス自動設定を行い、上記スイッチブレードを別の方法で設定する場合は、次の注意が必要です。

① 固定 IP アドレスの場合

他のコンポーネントの IP アドレス設定が終わってから、スイッチブレードの設定を行ってください。

② DHCP の場合

[AuDi-MIP]の[基本設定]で[AuDi-MIP コネクションブレード管理コントローラ設定]が有効な場合、DHCP によるスイッチブレードの IP アドレス設定はできません。[詳細設定]で対象のスイッチブレードを除外して設定してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.41 で修正しました。

- (2) マネジメントブレードの IP アドレス設定を DHCP モードの状態、AuDi-MIP 機能(注)を有効にすると、新しく割り振られた IP アドレスでは、Web ユーザインターフェースに接続することができません。マネジメントブレードの IP アドレス設定が、DHCP 有効になっている場合、無効に設定してから Audi-MIP を設定してください。

(注) Web ユーザインターフェース [設定]-[システムユニット]-[AuDi-MIP]メニュー

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

- (3) AuDi-MIP 機能にて IP アドレスを再設定する場合、初回の設定から 10 分以上経過した後に再設定を実施して下さい。初回の設定から時間をあけずに IP アドレスの再設定を行うと、新しい IP アドレスが適用されない場合があります。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.56 で修正しました。

MMB FW 6.41 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】BX920 S3、BX924 S3 が搭載されている場合、Ekey エラーが記録される

サーバブレード BX920 S3 または BX924 S3 が搭載されている構成で、シャーシの DC オフ/オンを行った時に下記のエラーメッセージがマネジメントブレードのイベントログに記録されることがありますが、動作上問題ありません。

YYYY-MM-DD HH:MM:SS Major Ekey: Server Blade-* Mezzanine-0 HSS FRU data is invalid.
(* : スロット番号)

対象コンポーネント： サーバブレード BX920 S3、BX924 S3、
マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.41 で修正しました。

2. 【修正済み】Internet Explorer 9 使用時の注意について

Web ユーザインターフェースよりシャーシのシステム名を変更することができません。コマンドラインインターフェースを用いて設定を行ってください。
コマンドラインからの設定は以下の通りです。

コマンドラインインターフェースからの設定方法

- ① Telnet/SSH 接続(※)、もしくはシリアル接続にてコマンドラインインターフェースにログイン。
※Web ユーザインターフェースから Telnet/SSH 接続を[有効]にする必要があります。
- ② 下記コマンドにて、システム名を変更する。
`</OEMSVS> BX400S1 -> cd AgentInfo`
`</OEMSVS> BX400S1 -> set AgentName="変更するシステム名"`

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.41 で修正しました。

3. 【修正済み】サーバブレードのメザニンカード 2 の E-keying 情報が正しく表示されない

サーバブレード BX924 S3、BX920 S3 のメザニンカード 2 に 1G LAN メザニンカードを搭載し、かつコネクションブレード 3、4 にスイッチブレード(10Gbps 18/8)を搭載したとき、Web ユーザインターフェースの[ネットワークインベントリ]メニューでメザニンカード 2 のポート 3、4 の E-keying 有効が「いいえ」に、状態が「警告」の表示になります。ただし、表示のみの問題であり機能上は問題ありません。

状態	モジュール名	ポート ID	PF ID	VLAN ID	テクノロジー	アクティブ製造元 MAC アドレス	IP アドレス	BIOS 有効	Ekeying 有効	コネクションブレード
✓	Onboard LAN	1	1		NIC	E8:9A:8F:BD:FA:28		はい	はい	GbEスイッチブレード-1
✓	Onboard LAN	2	1		NIC	E8:9A:8F:BD:FA:2C		はい	はい	GbEスイッチブレード-1
✓	Onboard LAN	3	1		NIC	E8:9A:8F:BD:FA:2A		はい	はい	GbEスイッチブレード-1
✓	Onboard LAN	4	1		NIC	E8:9A:8F:BD:FA:2E		はい	はい	GbEスイッチブレード-1
✓	Eth Mezz Card 1G-2	1				00:23:8B:AA:25:B0		はい	はい	10GbEスイッチブレード-3
✓	Eth Mezz Card 1G-2	2				00:23:8B:AA:25:B1		はい	はい	10GbEスイッチブレード-4
⚠	Eth Mezz Card 1G-2	3				00:23:8B:AA:25:B2		はい	いいえ	情報無し
⚠	Eth Mezz Card 1G-2	4				00:23:8B:AA:25:B3		はい	いいえ	情報無し

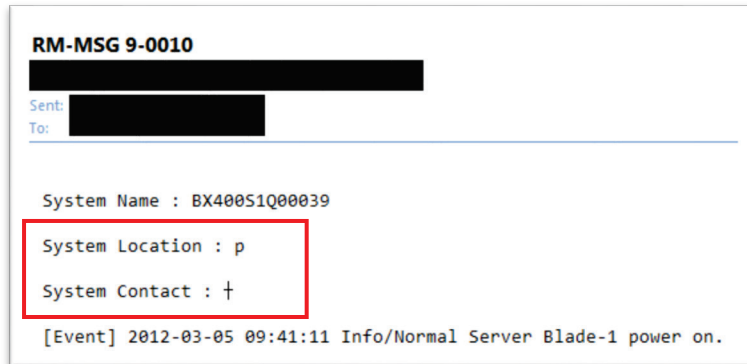
対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.41 で修正しました。

4. 【修正済み】システムの【設置場所】および【連絡先】について

マネジメントブレードの動作モードを変更(注 1)した場合、以下の Web ユーザインターフェースで設定した【設置場所】／【連絡先】の情報(注 2)が引き継がれません。必要に応じて、再設定をしてください。

また、メールにてリモート通知機能をご使用の場合、メール本文に System Location/System Contact の欄がありますが、上記で設定した【設置場所】および【連絡先】の内容が正しく表示されませんので System Name にて対象装置を特定してください。



(注 1) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[マネジメントブレード-*]-[設定]タブ-[マネジメントブレードの動作モード変更]

(注 2) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[システムユニット]-[ブレードシステム情報]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.41 で修正しました。

MMB FW 6.33 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】BX900 S1 シャーシに BX400 S1 用ファームウェアが書き込まれているマネジメントブレードの搭載について

BX900 S1 シャーシに BX400 S1 用ファームウェアが書き込まれているマネジメントブレードを搭載することはできません。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.5.05 と 6.33 で修正しました。

2. 【修正済み】マネジメントブレード 未サポート機能について

(1) 消費電力モード[強制(Enforced)]設定

- ・ [情報/操作]-[電源管理]-[設定]-[電力の供給状況の表示・設定]-[省電力モード]のプルダウンメニューで[強制]を選択しないでください。
- ・ [情報/操作]-[電源管理]-[設定]-[サーバブレードの消費電力制御]メニュー[省電力モード]のプルダウンメニューで[強制]を選択しないでください。

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.22 と iRMC ファームウェア Ver5.51 で対応しました。

(2) ネットワークプロトコル(NTP)の Sync Afterward モード

[設定]-[システムユニット]-[日付と時刻]-[ネットワークタイムプロトコル(NTP)]-[時刻の同期モード]のプルダウンメニューで[Sync Afterward]と[Sync Always]が表示されますが、[Sync Always]を選択してください。

本機能は、マネジメントブレード ファームウェア Ver6.22 で対応しました。

(3) OS の Easy Installation(簡易インストール)機能

ServerView Suite Version 10.11.02 にて対応済みです。

本機能の留意事項については、「Easy Installation(簡易インストール)機能について」を参照してください。

(4) VLAN 設定

[設定]-[ネットワークインタフェース]-[管理 LAN]-[VLAN]は使用しないでください。

本機能は、マネジメントブレードファームウェア Ver6.22 で対応しました。

(5) XML 形式のマネジメントブレード設定情報の退避・復元

[コンポーネント]-[マネジメントブレード]-[バックアップ/復元]でバイナリ形式を選択してください。

本機能は、マネジメントブレードファームウェア Ver6.33 で対応しました。

(6) [最後のサーバブレード停止後システムユニットの電源を切断]機能

[情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[制御]タブ-[電源スイッチ]メニュー-[最後のサーバブレード停止後システムユニットの電源を切断]は有効にしないでください。

本機能は、マネジメントブレードファームウェア Ver6.33 で対応しました。

(7) 識別情報の[シリアル番号を追加]機能

[設定]-[基本設定ウィザード]-[識別情報設定]-[シリアル番号を追加]は有効にしないでください。

本機能は、マネジメントブレードファームウェア Ver6.33 で対応しました。

(8) IPv6 での SNMP トラップ

[設定]-[システムユニット]-[SNMP]-[基本]タブ-[新しいトラップの送信先]メニューでトラップ送信先は IPv4 アドレスのみ設定してください。

本機能は、マネジメントブレードファームウェア Ver6.33 で対応しました。

3. 【修正済み】IP フィルタリングについて

マネジメントブレードの管理 LAN で、SNMP の IP フィルタリングを設定する場合は、許可する IP アドレスに必ず「127.0.0.1」を追加してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 以前

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 で修正しました。

4. 【修正済み】消費電力モードの初期設定について

マネジメントブレードの消費電力モード(注 1)の初期設定は「最小(Minimum)」です。消費電力モードが「最小(Minimum)」の場合、シャーシに搭載された全てのサーバブレードは省電力モードで動作します。性能を重視する場合など、運用条件に合わせて設定を変更してください。なお、マネジメントブレードの消費電力設定を「最小(Minimum)」から「なし(None)」に変更してもサーバブレードの設定は省電力モードのまま変更されません。iRMC の Web ユーザインターフェース(注 2)より必要なモードに設定してください。

(注 1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[設定]タブの[電力の供給状況の表示・設定]メニュー

(注 2) iRMC Web ユーザインターフェース [電力制御]-[電力制御オプション]メニューの[電力制御]

マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降、消費電力モードの初期設定は「なし(None)」になっています。

5. 【修正済み】マネジメントブレードの IPv6 設定について

マネジメントブレードの管理 LAN またはサービス LAN に IPv6 のアドレスを設定した場合、設定を有効にするためにマネジメントブレードの再起動(注)が必要です。

(注) マネジメントブレード 1 台搭載の場合は、[コンポーネント]-[マネジメントブレード-1]-[設定]タブで[再起動]、2 台搭載の場合は、[動作モードの変更]を実行してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 で修正しました。

6. 【修正済み】IPv6 環境下で、サーバブレードの iRMC のリモート管理/ビデオリダイレクションに接続できない

マネジメントブレードの Web ユーザインターフェース経由より IPv6 で iRMC のリモート管理/ビデオリダイレクションに接続できません。IPv6 で iRMC に接続する場合は、Web ブラウザ上で直接 iRMC のアドレスを入力してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 で修正しました。

7. 【修正済み】サーバブレードのスケジュール運転の設定について

サーバブレードのスケジュール運転を設定(注)する場合は、同じ曜日内で[電源投入時刻]と[電源切断時刻]の両方を設定してください。[電源投入時刻]のみ設定された場合、スケジュール運転機能は動作しません。

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[サーバブレード-n]-[設定]タブ-[スケジュール運転の設定]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 以前

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 で修正しました。

MMB FW 6.22 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】ストレージブレードが搭載されている場合、Ekey エラーが記録される

ストレージブレード SX960 S1 が搭載されている構成で、マネジメントブレードのモード切り替え、シャーシの電源オフオンを行った時、またはストレージブレードの搭載を行った時に下記のエラーメッセージが記録されることがありますが、動作上問題ありません。

YYYY-MM-DD HH:MM:SS Major Ekey: Server Blade-* Mezzanine-0 HSS FRU data is invalid.
(* : スロット番号)

(注) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[サーバブレード-n]-[設定]タブ-[スケジュール運転の設定]

対象コンポーネント: ストレージブレード SX960 S1

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 で修正しました。

2. 【修正済み】NTP サーバの IP アドレス設定について

NTP サーバの IP アドレス設定([設定]-[システムユニット]-[日付と時刻]-[ネットワークタイムプロトコル(NTP)])は、それぞれの IP バージョンに対して最大 2 つまでアドレスを設定できますが、IPv4 もしくは IPv6 のどちらか一方のアドレスのみを設定してください。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 で修正しました。

3. 【修正済み】マネジメントブレード設定の退避復元について

Web ユーザインターフェースに HTTPS で接続している場合、バックアップメディアの[ローカルファイル]によるマネジメントブレード設定の退避ができません。バックアップメディアを[メモリ]または[USB Device]に選択する場合には正常に退避可能です。設定の退避を行う場合に[ローカルファイル]をご使用になるときは一時的に[HTTPS 接続の有効]設定を無効にしてから設定の退避を行ってください。また、その場合に設定復元されたときには[HTTPS 接続の有効]を有効に戻していただくようお願いいたします。

バックアップ設定	
バックアップ形式:	<input checked="" type="radio"/> バイナリ <input type="radio"/> XML
バックアップメディア:	<input checked="" type="radio"/> メモリ <input type="radio"/> USB Device-sda1 <input type="radio"/> ローカルファイル
バックアップファイル名:	<input type="text" value="mmb20101210140342.bin"/>
バックアップの状況:	待機中
<input type="button" value="新しい名前"/>	
<input type="button" value="状況の更新"/>	
<input type="button" value="バックアップ"/>	

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 で修正しました。

4. 【修正済み】マネジメントブレード CSS ランプおよび保守ランプの誤点灯について

マネジメントブレード冗長構成の場合、シャーシ A C 電源投入時、ごく稀にマネジメントブレードのスレーブ側 CSS ランプおよび保守ランプが点灯することがあります。マスター側/スレーブ側マネジメントブレードの状態表示ランプの点滅及びシステム前面の保守ランプ、CSS ランプの点灯がなければ、故障ではありません。サーバ・マネジメントブレードの動作に影響はありませんので継続してご使用いただくことは可能です。マネジメントブレードの CSS ランプおよび保守ランプの消灯を行う場合は、ランプが点灯しているスレーブ側のマネジメントブレードの抜き差しを実施してください。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 で修正しました。

5. 【修正済み】サーバブレードの消費電力モードが変更できない

マネジメントブレードより各サーバブレードの消費電力モード(注 1)を[最小(Minimum)]に設定すると、そのあと設定を無効にしても、サーバブレードの設定は解除されません。また iRMC の Web ユーザインターフェースからも設定変更できなくなります。サーバブレードの消費電力モードの設定が変更できなくなった場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1. マネジメントブレードの消費電力モード (注 2) を一度異なるモードに設定する。
例) [なし(None)] → [低ノイズ(Low Noise)]
2. マネジメントブレードの消費電力モードを元に戻す。
例) [低ノイズ(Low Noise)] → [なし(None)]
3. シャーシに搭載されている全てのサーバブレードについて、iRMC Web ユーザインターフェースより、サーバブレードの電力制御(注 3)を確認し、必要に応じて設定を変更する。

(注 1) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[電源管理]-[設定]-[サーバブレードの消費電力制御]メニューの[消費電力モード]

(注 2) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[電源管理]-[設定]-[電力の供給状況の表示・設定]メニューの[消費電力モード]

(注 3) iRMC Web ユーザインターフェース [電力制御]-[電力制御オプション]メニューの[電力制御]

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 で修正しました。

6. 【修正済み】Web ブラウザが Firefox の場合、マネジメントブレードの設定バックアップ/復元ができない

Web ブラウザが Firefox の場合、マネジメントブレードの設定バックアップ/復元ができません。マネジメントブレードの設定バックアップ/復元を行う際は、Internet Explorer を使用してください。

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.22 で修正しました。

7. 【修正済み】サーバブレードのブートウォッチドッグリトライカウンタに[0]が設定できない

Web ユーザインターフェースより、サーバブレードのブートウォッチドッグリトライカウンタ(注 1)に[0]が設定できません。リトライカウンタの値を[0]に設定する場合は、iRMC の Web ユーザインターフェース(注 2)より行ってください。

(注 1) Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[設定]タブ-[自動再起動設定]メニューの[最大リトライカウンタ]と[リトライカウンタ]

(注 2) iRMC Web ユーザインターフェース [サーバ管理情報]-[ASR&R オプション]メニューの[リトライカウンタ最大値]と[リトライカウンタ]

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.22 で修正しました。

MMB FW 6.13 版で修正済みの項目

1. 【修正済み】マネジメントブレードのシステムイベントログに E-Keying エラーメッセージが記録される

マネジメントブレードのリセットもしくはモード切り替え (Change Role) 実行後、以下のエラーメッセージが記録されることがありますが、故障ではなく動作上問題ありません。

Minor Ekey: Internal Communication error.

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

2. 【修正済み】マネジメントブレードのモード切り替え（Change Role）後、ログインに時間がかかる

マネジメントブレードの Change Role 後、ログイン可能になるまで 15 分以上かかる場合があります。

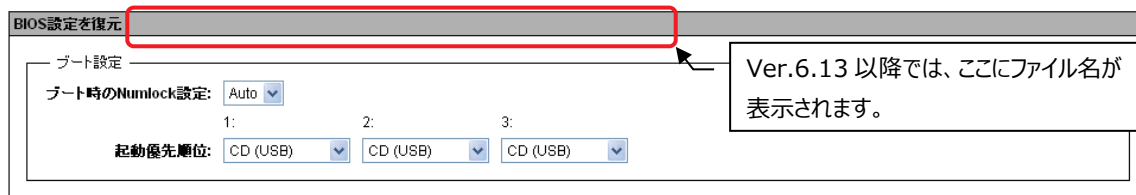
AC 投入後または Change Role 開始後からログイン完了まで 5 分以上かかる場合は、マスターのマネジメントブレードの抜き差し、もしくはリセットボタンを押下によりマネジメントブレードを再起動してください。マネジメントブレードのリセットボタンについては『PRIMERGY BX400 S1 ブレードサーバ システムユニット オペレーティングマニュアル』を参照してください。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

3. 【修正済み】BIOS 設定の復元について

Web ユーザインターフェースの[情報/操作]-[操作]-[バックアップ/復元管理]-[BIOS]-[復元]から BIOS 設定の復元をする際に、データファイル名が表示されません。

復元される設定を確認する場合は、[BIOS 設定を復元]にある各項目を確認してください。



本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

4. 【修正済み】LCD パネルの表示について

LCD パネルの[システムユニット設定]-[電力]-[電源管理設定]-[Power Consumption Monitoring]-[電力消費の監視]にある[制限]の値が正しく表示されません。

[制限]の値を確認する場合は、Web ユーザインターフェースの[情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[監視]にある[消費電力の現在値]の[制限]値を参照してください。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

5. 【修正済み】電源ユニットのファンエラーの誤表示について

電源ユニットのファンでエラーが発生した場合、Web ユーザインターフェースの[コンポーネント]のステータスが誤って表示されます。エラーが発生したコンポーネントを確認する場合は、Web ユーザインターフェースの[コンポーネント]-[システムユニット]を選択し、[ファン管理]の項目で各ファンのステータスで確認してください。システムイベントログは正しく記録されます。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

6. 【修正済み】証明書のアップロードについて

Web ユーザインターフェースで証明書のアップロード([情報/操作]-[操作]-[証明書の操作]-[サーバ証明書]-[証明書]タブ)を実行すると、Web ユーザインターフェースの接続が切れる問題があります。その場合、以下の手順に従い、SM CLP インターフェースより https の設定を行ってから、再度 Web インターフェースに接続してください。

(手動による再起動方法について)

```
</OemFujitsuSiemens> BX400S1 -> cd AgentInfo
</OemFujitsuSiemens/AgentInfo> BX400S1 -> cd Http
</OemFujitsuSiemens/AgentInfo/Http> BX400S1 -> set AgentHttpSslEnable=0
</OemFujitsuSiemens/AgentInfo/Http> BX400S1 -> set AgentHttpSslEnable=1
```

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

7. 【修正済み】iRMC の設定情報の表示について

マネジメントブレード Web ユーザインターフェースにある、iRMC 設定情報の表示メニューでは、iRMC に複数ユーザーを登録した場合でも、下記のプルダウンリストには“admin”しか表示されません。設定情報を参照する場合は、iRMC の Web メニューを参照してください。

The screenshot shows a window titled "Current iRMC Parameters" with a tab labeled "Local Users". Inside, the "User:" dropdown is set to "admin". Below it, a list of parameters is displayed in two columns:

Enabled: Enable	LAN Privilege: OEM
Name: admin	Serial Privilege: OEM
Password: *****	Configure Accounts: Disable
Description: User 02 Description	Configure iRMC Settings: Disable
Shell: Remote Manager	Video Redirection: Disable
	Remote Storage: Disable

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

8. 【修正済み】ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 IP アドレスの設定について

マネジメントブレード Web ユーザインターフェースでは、ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 IP アドレスを設定できません。以下の例に従って、SM CLP インターフェース経由でコンソールリダイレクションから設定してください。

(例：CB4 に搭載されたスイッチブレード管理ポートの IP アドレスを設定する場合)

コネクションブレード名が、“FCSW-04”の場合

```
</OemFujitsuSiemens> BX400S1 -> cd ConsoleRedirection
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4> BX400S1 -> set ConsoleRedirectionTo=CB4
Press <Ctrl+Q> Return Console Menu    ← Enter キーを押してください。
Fabric OS (FCSW-04)                     ← ( ) の中および以下の斜体部分には、“コネクションブレード名”が入ります。
FCSW-04 console login:
Password:
*** ユーザー名およびパスワードを入力後、以下の表示になります
FCSW-02:admin> ipaddrset
Ethernet IP Address [192.168.2.37]: xx.xx.xx.xx    ←ip アドレス設定
Ethernet Subnetmask [255.255.255.0]: xx.xx.xx.xx  ←サブネットマスク設定
Gateway IP Address [none]: xx.xx.xx.xx            ←ゲートウェイ設定
DHCP [Off]: on                                    ←DHCP の有効設定
DHCP [Off]: off                                   ←DHCP の無効設定
FCSW-02:admin>
***「Ctrl+Q」を押下して、コンソールリダイレクションからログアウトします。
```

(例：CB4 に搭載されたスイッチブレード管理ポートの設定を確認する場合)

```
</OemFujitsuSiemens> BX400S1 -> cd ConsoleRedirection
</OemFujitsuSiemens/ConnectionBlade4> BX400S1 -> set ConsoleRedirectionTo=CB4
Press <Ctrl+Q> Return Console Menu    ← Enter キーを押してください。
Fabric OS (FCSW-04)                     ← ( ) の中および以下の斜体部分には、“コネクションブレード名”が入ります。
FCSW-04 console login:
Password:
*** ユーザー名およびパスワードを入力後、以下の表示になります。
FCSW-04:admin> ipaddrshow
SWITCH
Ethernet IP Address: 192.168.2.39
Ethernet Subnetmask: 255.255.255.0
Gateway IP Address: none
DHCP: Off
FCSW-02:admin>
***「Ctrl+Q」を押下して、コンソールリダイレクションからログアウトします。
```

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

9. 【修正済み】ファンモジュールの電源ランプについて

シャーシの電源スイッチをオフにすると、ファンモジュールの電源ランプが黄色に点灯する場合があります。Web ユーザインターフェースおよび LCD パネルにファンユニットの異常が表示されていなければ、故障ではありません。該当するファンモジュールを抜き差しすることで、電源ランプは正常に戻ります。

本問題は、マネジメントブレードファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

10. 【修正済み】電源ユニットのダイナミックモード設定について

Web ユーザインターフェースで、[電源ユニットのダイナミックモード]の設定([情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[設定]タブ-[電力の供給状況の表示・設定]メニュー)を[標準]にした場合、[無効]設定に比べ、数ワット～数十ワット程度、電力が削減されます。しかし、シャーシの AC 電源をオフにした場合や、マネジメントブレードのモード切り替え(Change Role)や再起動を行うと、設定値が[無効(初期設定値)]に戻りますので、再度設定してください。

電力の供給状況の表示・設定

消費電力モード: Minimum

適応型電力制限の有効化: ☐

電源ユニット管理の設定: ☒

電源ユニットの数: 2

正常な電源ユニット: 2

電源のダイナミックモード: ☒ 無効 ☐ 標準 ?

配線構成を有効にする: ☐

電源ユニットの冗長構成: No Redundancy

適用

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 で修正しました。

11. 【修正済み】iRMC 設定情報の復元について

Web ユーザインターフェースのリモートマネジメントコントローラ復元メニュー([情報/操作]-[操作]-[バックアップ/復元管理]-[iRMC]-[復元])から iRMC 設定情報の復元を行うと、iRMC ユーザー情報に名前のないユーザーが作成されますが、動作上問題ありません。

本問題は、マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.13 と iRMC ファームウェア Ver.5.16G で修正しました。

iRMC FW で修正済みの項目

1. 【修正済み】電源ユニットの活性交換・活性増設時の注意事項について [BX920 S4/BX924 S4 搭載時]

下記発生条件の何れかの設定をしている場合に、電源ユニットの活性交換・活性増設を行うと搭載されたサーバブレードが一時的に CPU スローダウンが発生します。通常は元の CPU スピードに自動的に戻りますが、次の発生条件に合致する場合、CPU のスローダウンが発生し続ける場合があります。

発生条件

- ① [Power Technology] (注 1) を“Energy Efficient”に設定
- ② [Power Technology] (注 1) を“Custom”に設定し、[Enhanced SpeedStep] (注 2) を“Enabled”に設定
- ③ [Power Technology] (注 1) を“Disable”に設定し、
マネジメントブレード設定の[消費電力モード] (注 3) または iRMC 設定の[電力制御] (注 4) を “電力制限”に設定
- ④ [Power Technology] (注 1) を“Custom”に設定 かつ [Enhanced SpeedStep] (注 2) を“Disabled”に設定し、
マネジメントブレード設定の[消費電力モード] (注 3) または iRMC 設定の[電力制御] (注 4) を “電力制限”に設定

(注 1) BIOS セットアップメニュー [Advanced]-[CPU Configuration]-[Power Technology]

(注 2) BIOS セットアップメニュー [Advanced]-[CPU Configuration]-[Enhanced SpeedStep]

(注 3) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[省電力]タブ-[サーバ制御の消費電力モードテーブル]メニューの [消費電力モード]

(注 4) iRMC Web ユーザインターフェース [電力制御]-[電力制御オプション]メニューの[電力制御]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 以降
BX920 S4/BX924 S4 iRMC ファームウェア Ver. 7.68F 未満

本問題は、BX920 S4/BX924 S4 iRMC ファームウェア Ver.7.68F で修正しました。

2. 【修正済み】電源ユニットの活性交換・活性増設時の注意事項について [BX920 S3/BX924 S3 搭載時]

下記発生条件の何れかの設定をしている場合に、電源ユニットの活性交換・活性増設を行うと搭載されたサーバブレードが一時的に CPU スローダウンが発生します。通常は元の CPU スピードに自動的に戻りますが、次の発生条件と合致する場合、CPU のスローダウンが発生し続ける場合があります。本現象が発生した場合には OS の再起動が必要となります。

発生条件

- ① [Power Technology] (注 1) を“Disable”に設定
- ② [Power Technology] (注 1) を“Custom”に設定し、[Enhanced SpeedStep] (注 2) を“Disabled”に設定
- ③ [Power Technology] (注 1) を“Energy Efficient”に設定し、
マネジメントブレード設定の[消費電力モード] (注 3) または iRMC 設定の[電力制御] (注 4) を “電力制限”に設定
- ④ [Power Technology] (注 1) を“Custom”に設定 かつ [Enhanced SpeedStep] (注 2) を“Enabled”に設定し、
マネジメントブレード MMB 設定の[消費電力モード] (注 3) または iRMC 設定の[電力制御] (注 4) を “電力制限”に設定

(注 1) BIOS セットアップメニュー [Advanced]-[CPU Configuration]-[Power Technology]

(注 2) BIOS セットアップメニュー [Advanced]-[CPU Configuration]-[Enhanced SpeedStep]

(注 3) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[操作]-[電源管理]-[省電力]タブ-[サーバ制御の消費電力モードテーブル]メニューの[消費電力モード]

(注 4) iRMC Web ユーザインターフェース [電力制御]-[電力制御オプション]メニューの[電力制御]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.33 以降
BX920 S3/BX924 S3 iRMC ファームウェア Ver. 6.29G 以下

本件は、BX920 S3/BX924 S3 iRMC ファームウェア Ver.6.30G で修正しました。

3. 【修正済み】BX924 S4 搭載時の[システム消費電力モード]設定について

BX924 S4 サーバブレードを搭載する場合、[システム消費電力モード]の[低ノイズ]モードは設定しないでください。

(注) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[電源管理]-[消費電力]タブの[システム消費電力モード]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62 以降
BX924 S4 iRMC ファームウェア Ver. 7.04F

本問題は、BX924 S4 iRMC ファームウェア Ver.7.23F で修正しました。

4. 【修正済み】BX924 S4 搭載時の[入力電力制限]について

BX924 S4 サーバブレードを搭載する場合、サーバブレード高負荷時に[入力電力制限を有効にする]設定(注)を変更しないでください。

(注) Web ユーザインターフェース [情報/操作]-[電源管理]-[入力電力制限]タブ-[入力電力システム制限]

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.62、6.63、
BX924 S4 iRMC ファームウェア Ver. 7.04F

本問題は、BX924 S4 iRMC ファームウェア Ver.7.12F で修正しました。

5. 【修正済み】サーバブレードのメモリ情報が正しく表示されない

マネジメントブレードファームウェア版数とiRMCファームウェア版数の組合せによっては、サーバブレードのメモリ情報がWebユーザインターフェースで正しく表示されない不具合があります。メモリ情報が正しく表示されない場合は、iRMCのWebユーザインターフェース(注)より確認してください。

(注) iRMC Web ユーザインターフェース [システム情報]-[システムの構成情報]-[システムメモリ情報]

対象コンポーネント： BX920 S1/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2/BX960 S1 iRMC ファームウェア版数 Ver.5.59G

本問題は、以下の版数以降では問題ありません。

BX920 S1/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2/BX960 S1 iRMC ファームウェア版数 : V5.63 以降

6. 【修正済み】マネジメントブレード再起動時に稀にサーバブレードがシャットダウンする

以下の操作等により、マネジメントブレードが再起動したときに、稀にサーバブレードがシャットダウンすることがあります。

- ・ マネジメントブレードファームウェアのアップデート
- ・ マネジメントブレードの Web または CLI インターフェースにて操作
- ・ 運用中に稀に発生する再起動

対象コンポーネント： BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 iRMC ファームウェア版数 5.20G 以前

本件は、BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 iRMC ファームウェア版数 5.56G で修正済みです。

上記の対象コンポーネントに該当する場合は、BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2 iRMC ファームウェアを 5.56G 以降の版数にアップデートしてください。

7. 【修正済み】サーバブレードのアセットタグについて

初期設定の場合、Web ユーザーインターフェースの[コンポーネント]-[サーバブレード]-[設定]タグ-[ブレードアセットタグ]が、下記の表示になります。また、マネジメントブレードのイベントログには“Info/Normal Server Blade-X asset tag is not unique”（Xはサーバブレードの番号）と記録されますが、問題ありません。表示を消す場合は、各サーバブレードのブレードアセットタグに一意的な文字列を入力するか、“System Asset Tag”の文字列を削除して [適用] ボタンをクリックしてください。

ブレードアセットタグ	
ブレードアセットタグ:	System Asset Tag
Tag not unique !	
<input type="button" value="適用"/>	

本問題は、iRMC ファームウェア Ver.5.16G で修正しました。

8. 【修正済み】BX2560 M2/BX2580 M2/BX2560 M1/BX2580 M1/BX920 S4/BX924 S4 の[シャットダウンおよび電源切断・投入]について

iRMC 設定(注 1)の[IPMI フェンシング]の[フェンスドシステムシャットダウンを有効にする]を有効に設定(初期設定は無効)し、マネジメントブレード(注 2)の[サーバブレードの電源管理]で[シャットダウンおよび電源切断・投入](注 3)を実行した場合、OS シャットダウンを実行せずパワーサイクルが実行されます。

ServerView ユーザ管理: SSO_Admin ログアウト FUJITSU

PRIMERGY BX2580 M1 FUJITSU ServerView® iRMC S4 Web Server English Deutsch

WIN-FJ1I820M618 (スロット 13)

電源制御

☐ 電源投入 ☐ パワーサイクル
☐ 電源切断 ☐ 電源切断(シャットダウン)
☐ ハードリセット ☐ リセット(シャットダウン)
☐ NMI発行 ☐ 電源ボタンを押す

適用

注: 電源ボタンを押すはサーバの電源ボタンの短押し動作をエミュレートします。OSの種類、動作設定により、サーバはシャットダウン/スタンバイ/休止状態、または継続動作します。

IPMI フェンシング

☒ フェンスドシステムシャットダウンを有効にする

適用

注: フェンスドシステムシャットダウンは電源切断とパワーサイクルに対して、OSシャットダウンを試みず直接IPMI準拠したシステムシャットダウンを行います。

(注 1) iRMC Web ユーザーインターフェース [電源制御]-[電源投入/切断]

サーバブレードの電源管理

電力管理モード: 最適

電源状態: 電源投入

☐ 電源投入
☐ シャットダウンおよび電源切断
☒ シャットダウンおよび電源切断・投入
☐ ハードリセット
☐ NMI
☐ 強制電源切断

適用

(注 2) マネジメントブレード Web ユーザインターフェース [コンポーネント]-[サーバブレード]-[電源管理]タブ

(注 3) [シャットダウンおよび電源切断・投入]を実行するには ServerView Agents がインストール済みであり、かつ実行中である必要があります。

「OS シャットダウンおよび電源切断・投入」を実施する場合は、以下のいずれかの方法で実施してください。

- ① iRMC 設定の[IPMI フェンシング]の[フェンシングシステムシャットダウンを有効にする]を無効に設定(初期設定)し、マネジメントブレードの[サーバブレードの電源管理]で[シャットダウンおよび電源切断・投入]を実行する。
- ② iRMC 設定(注 4)の[電源制御]の[リセット(シャットダウン)](注 5)を実行する。
 (注 4) iRMC Web ユーザインターフェース [電源制御]-[電源投入/切断]
 (注 5) [リセット(シャットダウン)]を実行するには ServerView Agents がインストール済みであり、かつ実行中である必要があります。

対象コンポーネント: サーバブレード iRMC ファームウェア版数 8.24F 以降

マネジメントブレード ファームウェア BX2560 M2/BX2580 M2 は Ver.6.86 以降

BX2560 M1/BX2580 M1 は Ver.6.75 以降

BX920 S4 は Ver.6.63 以降、BX924 S4 は Ver.6.62 以降

本件は、BX2560 M2/BX2580 M2/BX2560 M1/BX2580 M1/BX920 S4/BX924 S4 iRMC ファームウェア 8.83F で修正済みです。

BIOS で修正済みの項目

1. 【修正済み】Easy Installation(簡易インストール)機能を用いた RHEL6.2 のインストールについて

Easy Installation(簡易インストール)機能(注)を用いて、BX920 S3 および BX924 S3 サーバブレードに RHEL6.2 のインストールを実施した場合、正常にインストールが完了しても Web インターフェース上でエラーとなることがあります。インストールした OS が起動できた場合には、インストールは正常に完了しておりますので上記のエラーは無視してください。

本問題は、以下の版数以降では問題ありません。

BX920 S3 / BX924 の BIOS : V2.2.0 以降

ServerView Installation Manager : V10.12.07 以降

(注) iRMC Web ユーザインターフェース [情報]-[操作]-[インストール管理]-[OS のインストール]

2. 【修正済み】LAN 拡張ボード(1Gbps)の情報が正しく表示されない

BX920 S4 サーバブレードのメザニンカード 1 側に LAN 拡張ボード(1Gbps)を搭載したとき、Web ユーザインターフェースの[コンポーネント]-[サーバブレード]にある[ネットワークインベントリ]メニューで LAN 拡張ボード(1Gbps)の MAC アドレスおよび IP アドレスが Port ID 1,2 と Port ID3,4 で入れ替わって表示されます。

Status	Module Name	Firmware Version	Port ID	PF ID	VLAN ID	Technology	Active / Manufacturer MAC Address	IP Address	BIOS enabled	Ekeying enabled	Connection Blade
✓	Onboard LAN	4.6.313.21	1	1	1	NIC	90:1B:0E:21:A7:E8	192.168.100.37	Yes	Yes	GbE Connection Blade-1
✓	Onboard LAN	4.6.313.21	2	1	1	NIC	90:1B:0E:21:A7:EC	169.254.77.174	Yes	Yes	GbE Connection Blade-1
✓	Onboard LAN	4.6.313.21	3	1	1	NIC	90:1B:0E:21:A7:EA	169.254.93.170	Yes	Yes	GbE Connection Blade-1
✓	Onboard LAN	4.6.313.21	4	1	1	NIC	90:1B:0E:21:A7:EE	169.254.2.53	Yes	Yes	GbE Connection Blade-1
✓	Eth Mezz Card 1G-1	2.01	1			NIC	00:1E:68:DA:3F:FC		Yes	Yes	GbE Connection Blade-2
✓	Eth Mezz Card 1G-1	2.01	2			NIC	00:1E:68:DA:3F:FD		Yes	Yes	GbE Connection Blade-2
✓	Eth Mezz Card 1G-1	2.01	3			NIC	00:1E:68:DA:3F:FA	172.17.32.38	Yes	No	N/A
✓	Eth Mezz Card 1G-1	2.01	4			NIC	00:1E:68:DA:3F:FB	169.254.21.176	Yes	No	N/A

VIOM をご使用の場合、プロファイルの設定がハードウェアに正しく反映されません。

コネクションブレードスロット 2 に搭載しているスイッチブレード種別により現象が異なります。

[スイッチブレード(1Gbps 36/12)またはスイッチブレード(1Gbps 36/8+2)を搭載している場合]

プロファイルの設定が LAN 拡張ボード(1Gbps)の各ポートに以下のように割り当たります。

ポート番号	割り当たる仮想アドレス	割り当たるブートパラメータ
1	ポート 3 用	ポート 3 用
2	ポート 4 用	ポート 4 用
3	ポート 1 用	ポート 1 用
4	ポート 2 用	ポート 2 用

[スイッチブレード(1Gbps 18/6)、スイッチブレード(10Gbps 18/8)またはパススルーブレード(10Gbps 18/18)を搭載している場合]

LAN 拡張ボード(1Gbps)のポート 1 と 2 に、プロファイルの設定が適用されません。

ポート番号	割り当てる仮想アドレス	割り当てるブートパラメータ
1	適用されません (物理アドレスで動作)	適用されません
2	適用されません (物理アドレスで動作)	適用されません

VIOM をご使用の場合、プロファイルを次のように作成・編集して、サーバブレードに適用してください。

[スイッチブレード(1Gbps 36/12)またはスイッチブレード(1Gbps 36/8+2)を搭載している場合]

- 1) IO チャンネル画面で次のように入力します。

ポート番号	機能	ネットワーク/タグ VLAN/サービス	ブート
1	LAN	ポート 1 の接続先を入力	ポート 3 のブート方法を選択
2	LAN	ポート 2 の接続先を入力	ポート 4 のブート方法を選択
3	LAN	ポート 3 の接続先を入力	ポート 1 のブート方法を選択
4	LAN	ポート 4 の接続先を入力	ポート 2 のブート方法を選択

- 2) 仮想アドレス画面で拡張 1 のポートに次のように入力します。

ポート番号	入力する仮想アドレス
1	ポート 3 用
2	ポート 4 用

[スイッチブレード(1Gbps 18/6)、スイッチブレード(10Gbps 18/8)またはパススルーブレード(10Gbps 18/18)を搭載している場合]

- 1) カード構成画面で拡張カードスロット 1 の IO チャンネル数を 4 にします。

- 2) IO チャンネル画面で次のように入力します。

ポート番号	機能	ネットワーク/タグ VLAN/サービス	ブート
1	LAN	ポート 1 の接続先を入力	ブートしない
2	LAN	ポート 2 の接続先を入力	ブートしない
3	LAN	空欄(入力不要)	ポート 1 のブート方法を選択
4	LAN	空欄(入力不要)	ポート 2 のブート方法を選択

- 3) IO チャンネル画面で次のように入力します。

ポート番号	入力する仮想アドレス
1	使用しない適当なアドレス (00:00:00:00:00:01 など)
2	使用しない適当なアドレス (00:00:00:00:00:02 など)
3	ポート 1 用
4	ポート 2 用

- 4) プロファイルを適用する際に「ダウンリンクチェックをスキップする」を有効にします。

本件は、BX920 S4 BIOS R1.11.0 で修正しました。BX920 S4 BIOS R1.10.0 以前をお使いで、上記で記載した回避方法を適用している場合に、BIOS 版数を R1.11.0 以降にアップデートすると、BIOS アップデート後、仮想 MAC アドレスが期待通りに割り当たりません。以下の手順にてプロファイルを再編集の上、適用し直してください。

[スイッチブレード(1Gbps 36/12)またはスイッチブレード(1Gbps 36/8+2)を搭載している場合]

- 1) プロファイルが適用されたサーバブレードをシャットダウンして電源オフします。
- 2) プロファイルを解除します。
- 3) BIOS を R1.11.0 以降にアップデートします。
- 4) 解除したプロファイルの編集画面を開きます。

- 5) IO チャンネル画面で次のように入力します。

ポート番号	機能	ネットワーク/タグ VLAN/サービス	ブート
1	LAN	ポート 1 の接続先を入力	ポート 1 のブート方法を選択
2	LAN	ポート 2 の接続先を入力	ポート 2 のブート方法を選択
3	LAN	ポート 3 の接続先を入力	ポート 3 のブート方法を選択
4	LAN	ポート 4 の接続先を入力	ポート 4 のブート方法を選択

- 6) 仮想アドレス画面で拡張 1 のポートに次のように入力します。

ポート番号	入力する仮想アドレス
1	ポート 1 用
2	ポート 2 用
3	ポート 3 用
4	ポート 4 用

- 7) プロファイル編集完了後、サーバブレードに適用します。

[スイッチブレード(1Gbps 18/6)、スイッチブレード(10Gbps 18/8)またはパススルーブレード(10Gbps 18/18)を搭載している場合]

- 1) プロファイルが適用されたサーバブレードをシャットダウンして電源オフします。
- 2) プロファイルを解除します。
- 3) BIOS を R1.11.0 以降にアップデートします。
- 4) 解除したプロファイルの編集画面を開きます。
- 5) カード構成画面で拡張カードスロット 1 の IO チャンネル数を 2 にします。
- 6) IO チャンネル画面で次のように入力します。

ポート番号	機能	ネットワーク/タグ VLAN/サービス	ブート
1	LAN	ポート 1 の接続先を入力	ポート 1 のブート方法を選択
2	LAN	ポート 2 の接続先を入力	ポート 2 のブート方法を選択

- 7) 仮想アドレス画面で拡張 1 のポートに次のように入力します。

ポート番号	入力する仮想アドレス
1	ポート 1 用
2	ポート 2 用

- 8) プロファイル編集完了後、サーバブレードに適用します。

また、BX920 S4 サーバブレードにおいて、BIOS 版数 R1.10.0 以前にて、ROR(ServerView Resource Orchestrator)または RCVE(ServerView Resource Coordinator VE)をご使用で、LAN 拡張ボード(1Gbps)の NIC を管理 LAN としてサーバブレードを登録している場合、BIOS R1.11.0 以降を適用すると LAN 拡張ボード(1Gbps)の MAC アドレス情報の順番が修正されたことにより、管理 LAN の NIC を正しく認識できなくなります。ROR、RCVE から対象のサーバブレードを削除して、管理 LAN の NIC を修正された後の順番に合わせて設定してサーバブレードを再登録してください。

対象コンポーネント： マネジメントブレード ファームウェア Ver.6.73 以降、
BX920 S4 サーバブレード

本件は、BX920 S4 BIOS Ver. R1.11.0 で修正しました。

ServerView Agents で修正済みの項目

1. 【修正済み】マネジメントブレードのシステムイベントログにサーバブレードのエラーが繰り返し記録される

例) サーバブレード#13 にてエラーが検出された場合

サーバブレード#13 の SystemEventLog

[Blade:13 SEL]

2016-02-27 03:00:15 Minor Driver Monitor Warning: Slot: 5 Event: 28671

マネジメントブレードの SystemEventLog

[MMB Event Log]

2016-02-27 07:25:41 Major Server Blade-13 status is error.

2016-02-27 07:25:39 Info/Normal Server Blade-13 status is ok.

2016-02-27 06:15:10 Major Server Blade-13 status is error.

2016-02-27 06:15:07 Info/Normal Server Blade-13 status is ok.

2016-02-27 04:15:59 Major Server Blade-13 status is error.

2016-02-27 04:15:56 Info/Normal Server Blade-13 status is ok.

2016-02-27 03:00:28 Major Server Blade-13 status is error.

対象コンポーネント: マネジメントブレード ファームウェア 全版数

サーバブレード iRMC ファームウェア 全版数

ServerView Agents for Windows V7.20.22 未満

ServerView Agents for Linux/Citrix XenServer V7.20.24 未満

本件は、下記の ServerView Agents で修正済です。

ServerView Agents for Windows V7.20.22 以降

ServerView Agents for Linux/Citrix XenServer V7.20.24 以降

以上

Copyright 2013-2018 FUJITSU LIMITED

付録

BX400 S1 [消費電力モード] 旧/新ファームウェア設定項目対応表

- ・各行ごとに旧/新ファームウェアでの設定項目および設定値を対比しています。
- ・旧ファームウェアで[設定]タブにあった本表の設定項目は、新ファームウェアでは[設定]タブ名称がなくなり、[消費電力]と[入力電力制限]の2つのタブに分かれるので注意してください。
- ・表中の > < 括弧はいずれか1つを選択する項目、「 」括弧は個々に設定する項目である。

版数	マネジメントブレードファームウェア版数 6.56/6.56S以前					マネジメントブレードファームウェア版数 6.62以降				
タブ	設定					消費電力			入力電力制限	
設定項目	消費電力モード	消費電力スケジュールの設定	電力供給制限	強制モード	適応型電力制限を有効にする (適応型電力制限の有効化)	システム消費電力モード	サーバ制御の消費電力モードテーブル	すべてのサーバブレードの消費電力スケジュール	入力電力システム制限	入力システム電力の警告
1	> なしく (ご購入時設定)				「無効」 【注意】 [適応型電力制限を有効にする]が[有効]の場合、[適応型電力制限の有効化]が優先されるので、本表7項の設定となり、ファームウェアアップデート後の[システム消費電力モード]の設定は[適応]を選択する	> サーバで管理 <	「iRMC制御」 ※ 上記を設定後、更に各サーバブレードのiRMC Webインターフェースで、[電力制御](注1)を[電力制御. 無効] または [O/Sによるコントロール] に設定(注2)			
2	> 最小 <					> 最小 <				
3	> 低ノイズ <					> 低ノイズ <				
4	> スケジュールモード <	「時刻」と「モード」				> スケジュールモード <		「時刻」と「モード」		
5	> 制限 <		「電力制限しきい値の定義」		「無効」 【注意】 [適応型電力制限を有効にする]は同時に設定可能である。したがって、[適応型電力制限を有効にする]が[有効]の場合、ファームウェアアップデート後の[システム消費電力モード]の設定は[適応]を選択する	> サーバで管理 <	「iRMC制御」 ※ 上記を設定後、更に各サーバブレードのiRMC Webインターフェースで、[電力制御](注1)を[電力制御. 無効] または [O/Sによるコントロール] に設定(注2)		「入力電力制限を有効にする」	-
			「電力制限しきい値」						「現在可能な入力電力制限」	-
			「警告しきい値」						-	「警告しきい値」
			「ダイナミック電力管理を有効にする」						「入力電力制限を有効にする」を[有効]にすることで自動的に有効となる	-
			「連続許容期間」						-	「連続許容期間」
			「制限到達時の動作」						-	「制限到達時の動作」
6	> 強制 <			「最大入力電力制限」					「入力電力制限を有効にする」	
									「現在可能な入力電力制限」	
7					「有効」	> 適応 <				

注1. iRMC Webインターフェース[電力制御]-[電力制御オプション]-[電力制御オプション]-[電力制御]

注2. BX92x S2/BX92x S3は[電力制御. 無効]、BX92x S4/BX25x0 M1は[O/Sによるコントロール]に設定